

AnyWireASLINK システム  
IO-Link マスタ LINKER  
設定ツール  
**ユーザーズマニュアル**

1.0 版 2023/05/22

## 注意事項

### ●本書に対するご注意


1. 本書は、最終ユーザーまでお届けいただきますようお願いいたします。
2. 本製品の操作は、本書をよく読んで内容を理解した後に行ってください。
3. 本書は、本製品に含まれる機能詳細を説明するものであり、お客様の特定目的に適合することを保証するものではありません。
4. 本書の一部または全部を無断で転載、複製することはお断りします。
5. 本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。

### ●安全上のご注意（ご使用前に必ずお読みください）

本製品のご使用に際しては、本マニュアルおよび本マニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って、正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

本マニュアルで示す注意事項は、本製品に関するもののみについて記載したものです。

システムとしての安全上のご注意に関しては、CPU ユニットなどコントローラ側のユーザーズマニュアルを参照してください。

この「安全上のご注意」では、安全注意事項のランクを「 警告」、「 注意」として区分してあります。



**警告**


取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



**注意**

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽症を受ける可能性が想定されるおよび物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、

 **注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

本マニュアルは必要なときに読めるよう大切に保管すると共に、必ず最終ユーザーまでお届けいただくようお願いいたします。

## 【製品の適応について】



**警告**

- 本ソフトウェアをご使用になる場合は、万一製品に故障、不具合が発生しても重大な事故に至らない用途であり、またフェールセーフ、バックアップ機能は弊社製品の外部でシステム構成されていることを条件とさせていただきます。
- AnyWire システムは、一般工業等の用途を対象とした汎用品として設計されており、また安全性確保を目的とした制御機能を有するものではありません。  
従いまして、医療機器、原子力等発電所、鉄道、航空、安全用機器等、高い安全性が必要とされる用途については適応を除外させていただきます。
- 当社は、本ソフトウェアおよび本ソフトウェアを使用した製品の品質、性能、安全にかかわる一切の責任（債務不履行責任、瑕疵担保責任、品質保証責任、不法行為責任、製造物責任を含むそれらに限定されない）を負わないものとさせていただきます。

## 【設計上の注意事項】

### 注意

- AnyWire のシステムは高い耐ノイズ性を持っていますが、伝送ラインや入出力ケーブルは、高圧線や動力線から離してください。100mm 以上を目安として離してください。誤動作の原因になります。
- 安全のための非常停止回路やインタロック回路などは、AnyWire システム以外の外部回路に組み込んでください。
- 各種設定を反映中、本製品を搭載した産業用 PC の強制電源 OFF が実施されるような操作を行わないでください。  
反映中に本製品を搭載した産業用 PC の強制電源 OFF が実施されるような操作を行うと、データが不定となり、再設定・再反映が必要となります。また、本製品の誤動作の原因となります。

## 【取付け上の注意事項】

### 警告

- AnyWire 製品は、ユーザーズマニュアルに記載の一般仕様の環境で使用してください。  
一般仕様の範囲以外の環境で使用すると、感電、火災、誤動作、製品の損傷あるいは劣化の原因になります。
- それぞれの機器は正しく装着してください。誤動作、故障、落下の原因になります。  
DIN レールに装着する場合は、必ず固定フック側が上になるような姿勢で取り付けてください。  
可動フック側を上にして支えると、振動やケーブル重量等で脱落する可能性があります。  
確実に固定するため、DIN レールストップの併用を強くお勧めします。  
ねじ固定する場合は、規定トルク範囲内で行ってください。  
締付けが緩い、また締付過ぎは機器の破損や脱落、誤動作の原因になります。
- 機器の着脱は、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。  
電流の回り込み等による損傷や誤動作の原因となります。
- 導電部分や電子部品には直接触らないでください。誤動作、故障の原因になります。

## 【配線上の注意事項】



- 端子ねじの締付けは、規定トルク範囲内で行ってください。端子ねじの締付けがゆるいと、短絡、火災、誤動作の原因になります。端子ねじを締め過ぎると、ねじやユニットの破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。
- ユニット内に、切粉や配線クズなどの異物が入らないように注意してください。火災、故障、誤動作の原因になります。
- ユニットは、配線時にユニット内へ配線くずなどの異物が混入するのを防止するため、ユニット上部に混入防止ラベルを貼り付けています。配線作業中は、本ラベルをはがさないでください。システム運転時は、放熱のために本ラベルを必ずはがしてください。
- 誤配線は機器に損傷を与えることがあります。また、コネクタや電線がはずれないように、ケーブル長や配置に注意してください。
- 端子台により線を接続する場合、はんだ処理をしないでください。接触不良の原因になります。
- 電源ラインの配線長が長い場合、電圧降下により遠隔のスレーブユニットの電源電圧が不足することがありますので、外部供給電源を接続して規定の電圧を確保してください。
- AnyWire システム全体の配線や接続が完了しない状態で、DC24V 電源を投入しないでください。
- AnyWire システム機器には、DC24V 安定化直流電源を使用してください。
- 制御線や伝送ケーブルは、主回路や動力線と束線したり、近接したりしないでください。ノイズにより、誤動作の原因になります。
- ユニットに接続する電線やケーブルは、必ずダクトに納めるか、またはクランプによる固定処理を行ってください。ケーブルをダクトに納めなかったり、クランプによる固定処理をしていないと、ケーブルのふらつきや移動、不注意の引っ張りなどによるユニットやケーブルの破損、ケーブルの接続不良による誤動作の原因となります。
- ユニットに接続されたケーブルを取りはずすときは、ケーブル部分を手に持って引っ張らないでください。コネクタ付きのケーブルは、ユニットの接続部分のコネクタを手で持って取りはずしてください。端子台接続のケーブルは、端子台端子ねじを緩めてから取りはずしてください。ユニットに接続された状態でケーブルを引っ張ると、誤動作またはユニットやケーブルの破損の原因となります。

## 【立上げ・保守時の注意事項】

### 警告

- 通電中に端子に触れないでください。感電または誤動作の原因になります。
- 清掃、端子台上のねじ、ユニット取付けねじの増し締めは、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、感電の恐れがあります。ねじの締付けがゆるいと、短絡誤動作の原因になります。ねじを締め過ぎると、ねじやユニットの破損による落下、短絡、誤動作の原因になります。

### 注意

- 各ユニットの分解、改造はしないでください。故障、誤動作、ケガ、火災の原因になります。
- ユニットの着脱は、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してから行ってください。全相遮断しないと、ユニットの故障や誤動作の原因になります。
- ユニットに触れる前には必ず接地された金属に触れて人体などに帯電している静電気を放電してください。静電気を放電しないとユニットの故障や誤動作の原因になります。

## 【廃棄時の注意事項】

### 注意

- 製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。

# 目次

---

|         |  |      |
|---------|--|------|
| 1       | はじめに.....                              | 1-1  |
| 1.1     | 概要.....                                | 1-1  |
| 1.2     | 動作環境.....                              | 1-1  |
| 1.3     | 対応機種.....                              | 1-1  |
| 1.4     | インストール.....                            | 1-1  |
| 1.5     | アンインストール.....                          | 1-1  |
| 2       | 接続.....                                | 2-1  |
| 2.1     | 接続方法.....                              | 2-1  |
| 2.1.1   | 接続例.....                               | 2-1  |
| 3       | 操作.....                                | 3-1  |
| 3.1     | 画面.....                                | 3-1  |
| 3.1.1   | 起動時の画面.....                            | 3-1  |
| 3.1.1.1 | ファイル(F).....                           | 3-2  |
| 3.1.1.2 | ツール(T).....                            | 3-7  |
| 3.1.1.3 | ヘルプ(H).....                            | 3-8  |
| 3.1.2   | CPU 選択画面.....                          | 3-9  |
| 3.1.3   | ASLINK マスタ設定画面.....                    | 3-12 |
| 3.1.4   | IO-Link マスタ LINKER 設定画面.....           | 3-14 |
| 3.1.4.1 | IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 1.....     | 3-15 |
| 3.1.4.2 | IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 2.....     | 3-19 |
| 3.1.4.3 | 機器パラメータ読み書き.....                       | 3-25 |
| 3.1.5   | デバイス(IO-Link デバイス)設定画面(各 CH).....      | 3-27 |
| 3.1.6   | バックアップ/リストア.....                       | 3-33 |
| 3.1.6.1 | ASLINK マスタユニット配下.....                  | 3-37 |
| 3.1.6.2 | IO-Link マスタ LINKER 配下.....             | 3-37 |
| 3.1.6.3 | デバイス.....                              | 3-37 |
| 4       | 機能.....                                | 4-1  |
| 4.1     | デバイス周期情報の読み出し.....                     | 4-1  |
| 4.1.1   | デバイス I/O.....                          | 4-1  |
| 4.1.2   | デバイスセンシング情報.....                       | 4-1  |
| 4.2     | 設定ファイルの読み書き.....                       | 4-1  |
| 4.2.1   | フォルダ構成.....                            | 4-1  |
| 4.2.2   | ファイル内容.....                            | 4-3  |
| 4.2.2.1 | IO-Link マスタ LINKER 本体の設定ファイル.....      | 4-7  |
| 4.2.2.2 | IO-Link マスタ LINKER 配下のデバイスの設定ファイル..... | 4-7  |
| 4.3     | タイムアウト仕様.....                          | 4-7  |
| 4.3.1   | タイムアウト処理発生条件.....                      | 4-7  |

|       |                      |     |
|-------|----------------------|-----|
| 4.3.2 | タイムアウト処理が発生する操作..... | 4-7 |
| 5     | トラブルシューティング.....     | 5-1 |
| 5.1   | 現象別トラブルシューティング.....  | 5-1 |
| 6     | 変更履歴.....            | 6-1 |

# 1 はじめに

本ツールは、IO-Link マスタ LINKER(及び接続された IO-Link デバイス)の各種設定を行うための設定ツールです。

## 1.1 概要

本ツールは、Windows アプリであり、IO-Link マスタ LINKER、IO-Link デバイスの各種設定を行うことができます。

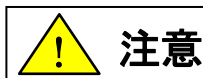


### 警告

本ツールは、AnyWireASLINK のパラメータアクセスを使用します。  
本ツールを使用する際は、プログラムによるパラメータアクセスと重なることがないように注意してください。  
本ツール使用時は GX Works でのデータモニタは行わないでください。誤動作の要因となります。  
IO-Link マスタ LINKER と IO-Link デバイスの設定を自由に変更できますが、稼動中に操作を誤ると、重大な事故に繋がる可能性があります。  
安全な状態でご使用ください。

## 1.2 動作環境

Windows10(64ビット) 日本語版



### 注意

本ツールを使用するには、EZSocket が必要です。  
EZSocket は、三菱電機 GX Works2、3 のインストールに含まれます。  
EZSocket を使用するには、.NET Framework(4.5.2 以降)のインストールが必要です。

## 1.3 対応機種

| ASLINK マスタユニット分類 | 型名         | 設定ツールの接続 |                   |
|------------------|------------|----------|-------------------|
|                  |            | 接続先      | 通信方法              |
| iQ-R シリーズ用       | RJ51AW12AL | シーケンサ    | ・USB<br>・Ethernet |
| Q シリーズ用          | QJ51AW12AL | シーケンサ    | ・USB<br>・Ethernet |
| L シリーズ用          | LJ51AW12AL | シーケンサ    | ・USB<br>・Ethernet |

## 1.4 インストール

実行形式ファイル“IOLCfgTool.exe”を含むフォルダ「IOL\_CFGTOOL」を適当なフォルダにコピーしてください。  
同フォルダ内の“IOLCfgTool.exe”へのショートカットをデスクトップやスタートメニューに登録してご使用ください。

## 1.5 アンインストール

実行形式ファイル“IOLCfgTool.exe”をコピーしたフォルダごと削除してください。ショートカットを作成している場合は、それも削除してください。



## 2 接続

### 2.1 接続方法

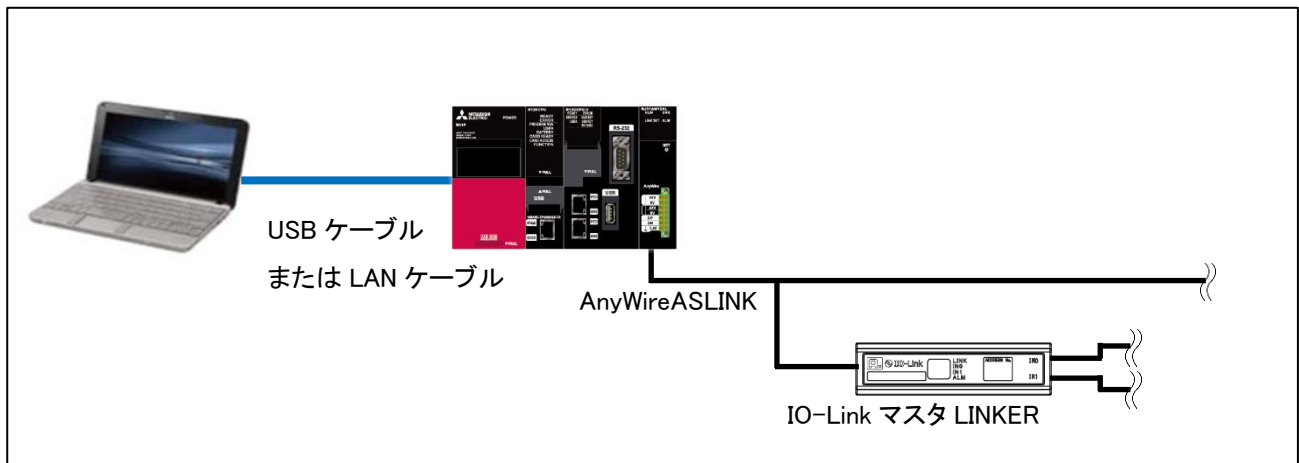
本ツールをインストールした PC と CPU との接続は、2 通りの方法があります。

- ・PC の USB コネクタへ直接接続する USB 接続
- ・Ethernet を介して行う LAN 接続 (IP アドレス指定)

※マルチ CPU との接続には対応していません。

#### 2.1.1 接続例

PC とマスタを USB ケーブルまたは LAN ケーブルで接続しターミナルにアクセス (読み出し/書き込み) を行います。

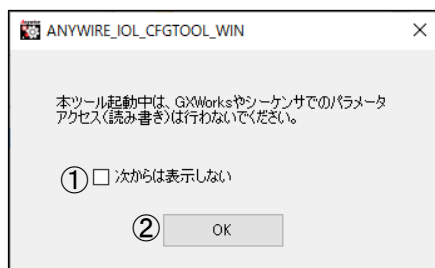


## 3 操作

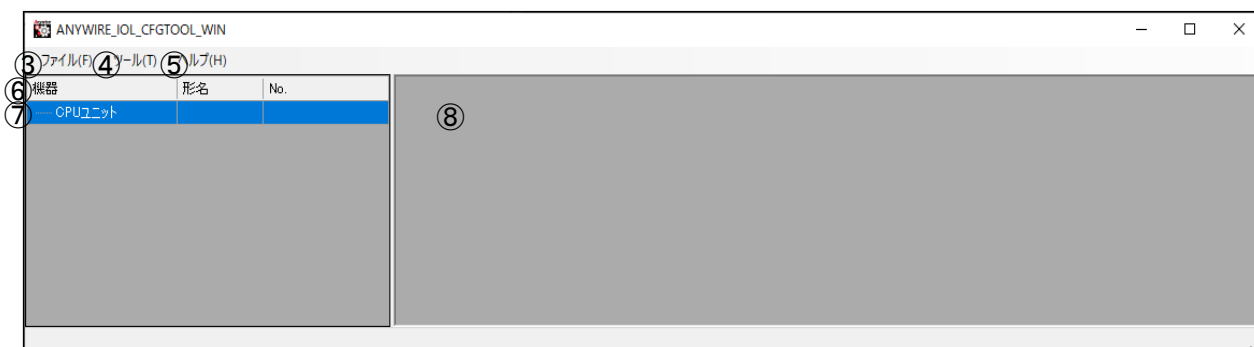
### 3.1 画面

#### 3.1.1 起動時の画面

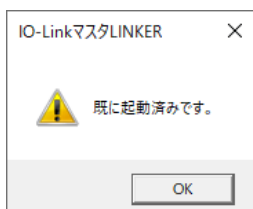
本ツール起動時、下記画面が表示されます。



OK ボタンをクリックすると、本ツールが立ち上がる



| 項目         | 画面詳細  |
|------------|---|
| ①チェックボックス  | 「次からは表示しない」のチェックボックスを選択し、②の OK ボタンをクリックすると次回起動時にダイアログが表示されなくなります。 |
| ②OK ボタン    | OK ボタンをクリックすると本ツールが立ち上がり、上記の画面が表示されます。                            |
| ③ファイル(F)   | クリックするとドロップダウンリストを表示します。<br>詳細は「3.1.1.1.ファイル(F)」に記載。              |
| ④ツール(T)    | クリックするとドロップダウンリストを表示します。<br>詳細は「3.1.1.2.ツール(T)」に記載。               |
| ⑤ヘルプ(H)    | クリックするとドロップダウンリストを表示します。<br>詳細は「3.1.1.3.ヘルプ(H)」に記載。               |
| ⑥接続機器表示エリア | CPU 設定後に接続機器が表示されるエリア。  |
| ⑦CPU ユニット  | クリックすると CPU 選択画面が開きます。<br>詳細は「3.1.2.CPU 選択画面」に記載。                 |
| ⑧設定画面表示エリア | 画面左側で設定対象の機器を選択したときに、設定画面が表示されるエリア。                               |



本ツールが既に起動している状態で、さらに本ツールを起動しようとするダイアログが表示されます。二重起動はできません。

(×クリックの場合は、キャンセルボタンと同じ動作、OK ボタンだけのダイアログでは OK ボタンと同じ動作となります。全画面同じ動作のため以降記載を省略します。)

また、ASLINK リモートユニットの存在しない ASLINK システムに対し、設定ツールを使用しないでください。リモートユニットアラーム信号(パラメータアクセス対象 ID 異常エラー)が発生する要因となります。

### 3.1.1.1 ファイル(F)

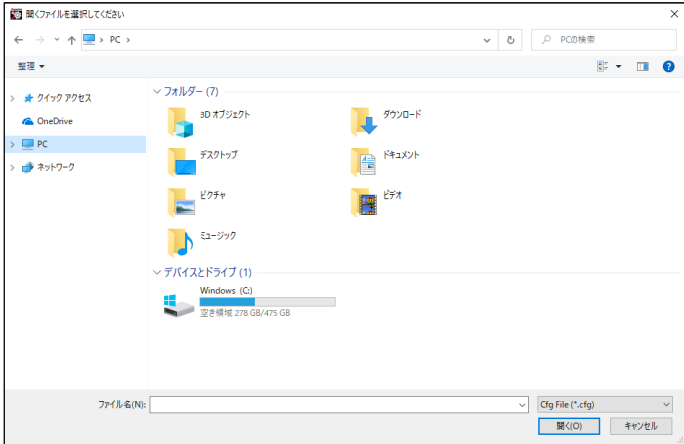
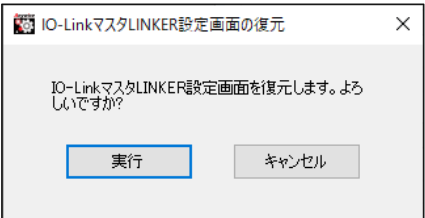
「ファイル(F)」からの操作で、本ツールに表示されている設定の保存、および各画面への復元が可能です。ただし、バックアップ、リストアとは対象の項目および保存先(復元先)が異なります。「ファイル(F)」からの操作で保存、復元される設定は設定ツール画面上のユーザ入力可能な項目のみであるため、IO-Link マスタ KINKER、IO-Link デバイスの機器内に保存されている設定には直接影響しません(各機器へ設定を反映するには各画面からの書き込みが必要です)。

上記機能を使用するメリットは以下の通りです。

- ・CPU 選択画面で CPU シリーズ、接続方法の選択や IP アドレスを設定する必要がない。
- ・デバイス設定画面にて過去に入力した OD 情報を再度入力する手間を省くことができる。

下図は「ファイル(F)」をクリックすると表示されるドロップダウンリストです。

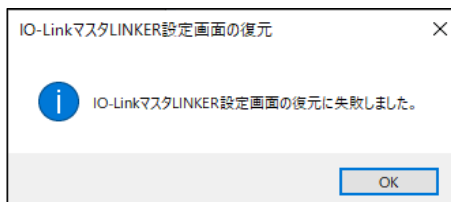
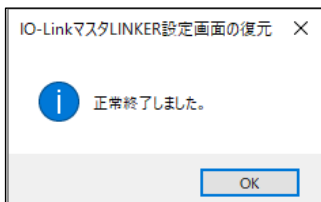
- |   |             |
|---|-------------|
| ① | 開く(O)       |
| ② | 上書き保存(S)    |
| ③ | 名前を付けて保存(A) |
| ④ | 終了(X)       |

| 項目     | 画面詳細   |
|--------|--|
| ①開く(O) | <p>クリックするとファイル選択画面が表示されます。</p>  <p>開くファイルを選択して開く(O)ボタンをクリックすると以下のようなダイアログが表示されます。</p>  <p>実行ボタンをクリックすると IO-Link マスタ LINKER 設定画面情報の復元を開始します。</p> |

実行中は以下のようなダイアログを表示します。



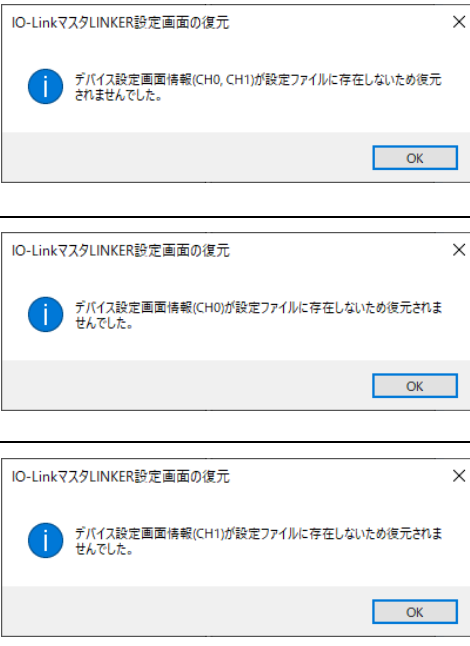
設定画面の復元が完了すると以下のようなダイアログが表示されます。

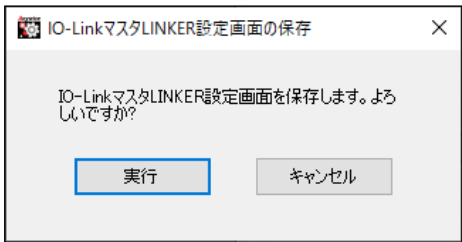
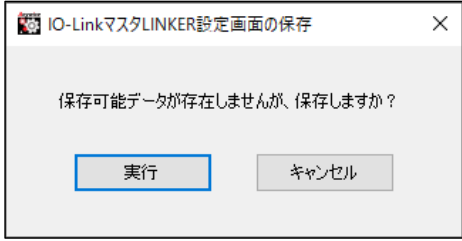
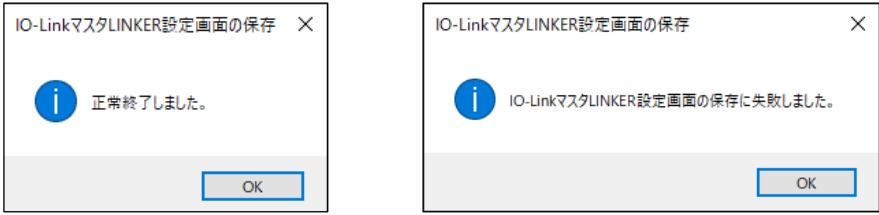


その他異常完了画面は以下の通りです。

| 発生タイミング  | ポップアップ画面 |
|--|----------|
| 対応していないファイルを選択して実行   |          |
| CPU ユニットとの接続中に設定ファイルが削除される   |          |
| 不正値 (IO-Link マスタLINKER情報、IO-Link マスタ LINKER 設定画面情報が 16 進数以外)を読み出し      |          |
| CPU 情報ファイル内の情報と一致しない CPU 情報 (アクセス対象 CPU ユニット、接続ユニット、伝文形式、通信プロトコル)を読み出し |          |

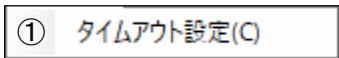
|  |  |
|--|--|
| <p>ASLINK マスタ配下の構成が異なる状態で復元(デバイス情報がある保存ファイルを復元した場合)<br/>(※同じ構成であっても IO-Link マスタ LINKER のアドレスが異なる場合も該当)</p>           |  |
| <p>CH1 のデバイス情報を含まない保存ファイルを復元した際、ASLINK マスタ配下の構成に差異を検出した場合<br/>(※同じ構成であっても IO-Link マスタ LINKER のアドレスが異なる場合も該当)</p>     |  |
| <p>CH0 のデバイス情報を含まない保存ファイルを復元した際、ASLINK マスタ配下の構成に差異を検出した場合<br/>(※同じ構成であっても IO-Link マスタ LINKER のアドレスが異なる場合も該当)</p>     |  |
| <p>ASLINK マスタ配下の構成が異なる状態で復元(デバイス情報がない保存ファイルを復元した場合)<br/>(※同じ構成であっても IO-Link マスタ LINKER のアドレスが異なる場合も該当)</p>           |  |
| <p>IO-Link デバイスの接続有無が異なる状態で復元(CH0、1 ともに違う場合)<br/>(※同じ構成であっても、使用 CH 設定や動作モード(IO-Link モードとIO-Link モード以外)が異なる場合も該当)</p> |  |
| <p>IO-Link デバイスの接続有無が異なる状態で復元(CH0 のみ違う場合)<br/>(※同じ構成であっても、使用 CH 設定や動作モード(IO-Link モードとIO-Link モード以外)が異なる場合も該当)</p>    |  |
| <p>IO-Link デバイスの接続有無が異なる状態で復元(CH1 のみ違う場合)<br/>(※同じ構成であっても、使用 CH 設定や動作モード(IO-Link モードとIO-Link モード以外)が異なる場合も該当)</p>    |  |

|                     |   |   |
|---------------------|---|---|
|                     | <p>デバイス設定画面の情報がない(od_Info の情報がない)ファイルを復元</p> <p>デバイス設定画面(CH0)の情報がない(od_Info の情報がない)ファイルを復元</p> <p>デバイス設定画面(CH1)の情報がない(od_Info の情報がない)ファイルを復元</p>  |  <p>IO-LinkマスタLINKER設定画面の復元</p> <p>デバイス設定画面情報(CH0, CH1)が設定ファイルに存在しないため復元されませんでした。</p> <p>OK</p> |
| <p>②上書き保存(S)</p>    | <p>既に読み出し済みの設定ファイルへ上書き保存されます。<br/>動作は③名前を付けて保存(A)と同様です。<br/>(ファイル選択はありません。設定ファイル読み出しがされていない場合はすべて同じ動作です。)</p>   |   |
| <p>③名前を付けて保存(A)</p> | <p>クリックするとフォルダ選択画面が表示されます。</p>  <p>保存先のファイルを選択してください</p> <p>PCの検索</p> <p>フォルダ (7)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クイックアクセス</li> <li>OneDrive</li> <li>PC</li> <li>ネットワーク</li> <li>3D オブジェクト</li> <li>ダウンロード</li> <li>デスクトップ</li> <li>ドキュメント</li> <li>ピクチャ</li> <li>ビデオ</li> <li>ミュージック</li> <li>デバイスとドライブ (1)</li> <li>Windows (C:) 空き領域: 278 GB/475 GB</li> </ul> <p>ファイル名(N):</p> <p>ファイルの種類(T): Cfg File (*.cfg)</p> <p>保存(S) キャンセル</p> |   |

|        |  |
|--------|--|
|        | <p>保存先を選択しファイル名を入力して保存(S)ボタンをクリックすると、以下のようなダイアログが表示されます。</p>  <p>空のデータを保存しようとした場合は以下のようなダイアログが表示されます。</p>  <p>実行ボタンをクリックするとIO-Link マスタ LINKER 設定画面情報の保存を開始します。設定画面の保存が完了すると以下のようなダイアログが表示されます。</p>  |
| ④終了(X) | 本ツールを終了します。  |

3.1.1.2 ツール(T)

下図は「ツール(T)」をクリックすると表示されるドロップダウンリストです。



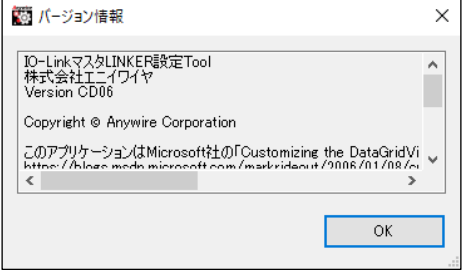
| 項目                               | 画面詳細   |      |        |     |        |                                  |   |     |    |             |   |     |   |                |   |    |   |
|----------------------------------|--|------|--------|-----|--------|----------------------------------|---|-----|----|-------------|---|-----|---|----------------|---|----|---|
| <p>①タイムアウト設定(C)</p>              | <p>本ツールが IO-Link マスタ LINKER に対して行う通信において、通信異常が発生した場合のタイムアウトとリトライ回数の設定および IO-Link マスタ LINKER からの周期データ読み出しの間隔設定を行います。</p> <div data-bbox="427 607 1102 1122" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <p>OK ボタンをクリックすると設定が反映され、ウィンドウが閉じます。<br/>                 キャンセルボタンをクリックすると設定は反映されずにウィンドウが閉じます。</p> <p>各設定の設定範囲とデフォルト値は以下の通りです。</p> <table border="1" data-bbox="427 1267 1442 1464"> <thead> <tr> <th>設定項目</th> <th>最小値</th> <th>最大値</th> <th>デフォルト値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>IO-Link マスタ LINKER との通信タイムアウト(秒)</td> <td>1</td> <td>300</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>最大リトライ回数(回)</td> <td>1</td> <td>100</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>周期データ読み出し間隔(秒)</td> <td>1</td> <td>60</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※設定ツール動作中にタイムアウト or リトライの限度を超えた場合は、ダイアログでエラー表示を行います。<br/>                 ※タイムアウト仕様については「4.3.タイムアウト仕様」をご確認ください。</p> | 設定項目 | 最小値    | 最大値 | デフォルト値 | IO-Link マスタ LINKER との通信タイムアウト(秒) | 1 | 300 | 10 | 最大リトライ回数(回) | 1 | 100 | 3 | 周期データ読み出し間隔(秒) | 1 | 60 | 1 |
| 設定項目                             | 最小値  | 最大値  | デフォルト値 |     |        |                                  |   |     |    |             |   |     |   |                |   |    |   |
| IO-Link マスタ LINKER との通信タイムアウト(秒) | 1  | 300  | 10     |     |        |                                  |   |     |    |             |   |     |   |                |   |    |   |
| 最大リトライ回数(回)                      | 1  | 100  | 3      |     |        |                                  |   |     |    |             |   |     |   |                |   |    |   |
| 周期データ読み出し間隔(秒)                   | 1  | 60   | 1      |     |        |                                  |   |     |    |             |   |     |   |                |   |    |   |



## 3.1.1.3 ヘルプ(H)

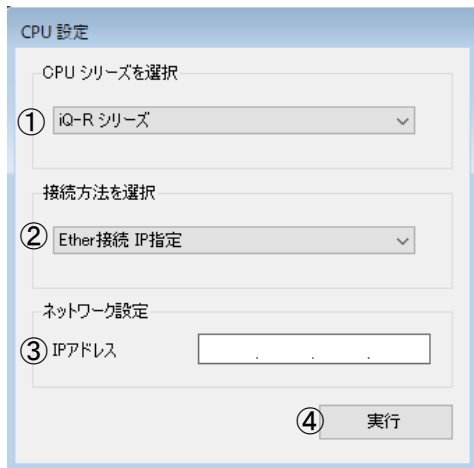
下図は「ヘルプ(H)」をクリックすると表示されるドロップダウンリストです。

① バージョン情報(A)

| 項目          | 画面詳細   |
|-------------|--|
| ①バージョン情報(A) | バージョン情報が表示されます。<br> |

### 3.1.2 CPU選択画面

接続機器表示エリアのツリー表示で「CPUユニット」をクリックすると、設定画面表示エリアに以下のようなCPU設定画面が表示されます。



| 項目                    | 画面詳細  |         |       |                       |  |
|-----------------------|---|---------|-------|-----------------------|--|
| ①CPU シリーズ             | <p>接続する CPU シリーズを選択します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     iQ-R シリーズ<br/>                     Q シリーズ<br/>                     L シリーズ                 </div>   |         |       |                       |  |
| ②接続方法                 | <p>接続方法を選択します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     USB接続<br/>                     Ether接続 IP指定                 </div>  |         |       |                       |  |
| ③ネットワーク設定             | <p>接続方法として Ether 接続 IP 指定を選択した場合は、IP アドレスの設定が必要です。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ネットワーク設定</p> <p>IPアドレス <input style="width: 100px;" type="text"/></p> </div>   |         |       |                       |  |
| ④実行ボタン                | <p>①～③を設定し、実行ボタンをクリックすると、CPU ユニット下にある ASLINK マスタユニットの一覧を読み出します。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; text-align: center;">                 CPUユニット配下の読み込み中です。             </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                 GX Works でモニタ中など通信を行っている際にツールから CPU へ接続を実行すると、GX Works からエラーメッセージが表示されます。             </div> </div> <p>設定が不足していた場合、以下の画面が表示されます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">発生タイミング</th> <th style="width: 50%;">ダイアログ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①で CPU シリーズを選択していない場合</td> <td> <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; text-align: center;"> <p>CPU設定 <span style="float: right;">×</span></p> <p><span style="font-size: 2em; color: blue;">i</span> CPUシリーズが設定されていません。</p> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">OK</p> </div> </td> </tr> </tbody> </table> | 発生タイミング | ダイアログ | ①で CPU シリーズを選択していない場合 | <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; text-align: center;"> <p>CPU設定 <span style="float: right;">×</span></p> <p><span style="font-size: 2em; color: blue;">i</span> CPUシリーズが設定されていません。</p> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">OK</p> </div> |
| 発生タイミング               | ダイアログ   |         |       |                       |  |
| ①で CPU シリーズを選択していない場合 | <div style="border: 1px solid gray; padding: 10px; text-align: center;"> <p>CPU設定 <span style="float: right;">×</span></p> <p><span style="font-size: 2em; color: blue;">i</span> CPUシリーズが設定されていません。</p> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">OK</p> </div>  |         |       |                       |  |

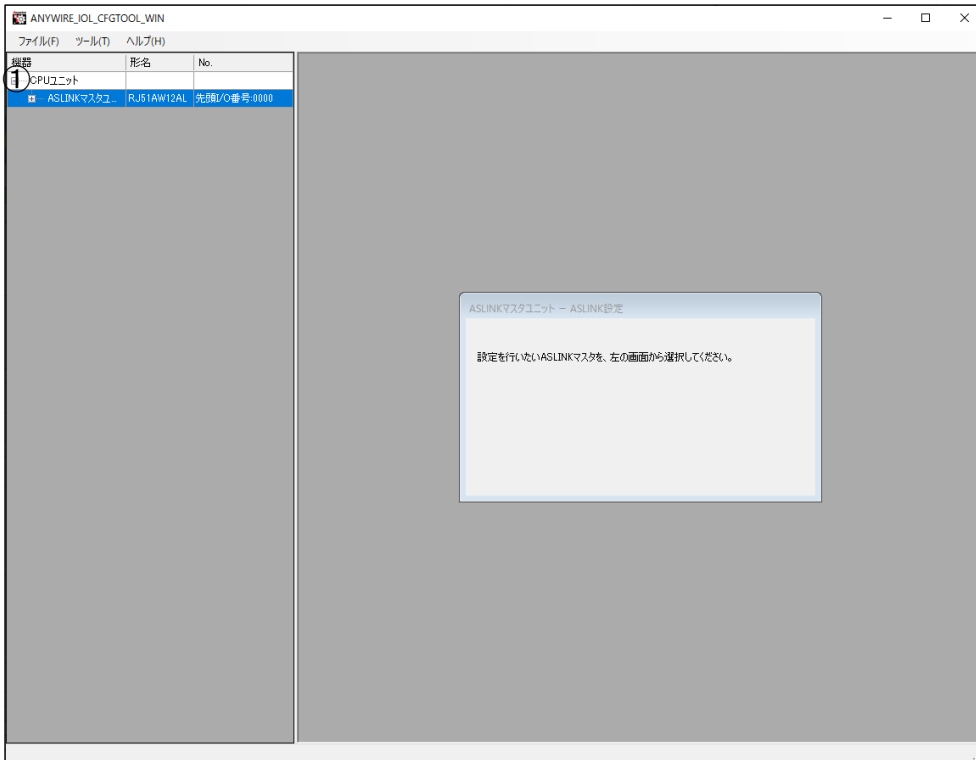
|   |  |
|---|--|
| <p>②で接続方法を選択していない場合</p>   |    |
| <p>②で Ether 接続 IP 指定を選択し、③で IP アドレスを正しく設定しないで実行ボタンをクリックした場合</p>         |    |
| <p>正常完了すると ASLINK マスタ設定画面が表示されます。詳細は「3.1.3.ASLINK マスタ設定画面」をご確認ください。</p> |  |
| <p>異常完了画面は以下の通りです。</p>  |  |
| <p>発生タイミング</p>  | <p>ダイアログ</p>   |
| <p>本ツールが CPU ユニットとの通信に失敗したとき</p>  |   |
| <p>IO-Link デバイスとの通信が確立していないとき</p>                                       |  |
| <p>本ツール内で保存している先頭 I/O 番号や CH 番号が不正値のとき</p>                              |  |
| <p>本ツール内で保存しているユニット ID が不正値のとき</p>                                      |  |
| <p>IO-Link マスタ LINKER からの取得値が不正値のとき</p>                                 |  |

|  |  |
|--|--|
| <p>入力信号 X1 が ON のとき</p>  |  <p>ASLINKマスタ設定</p> <p>ASLINK通信でDP-DN短絡を検知しました。<br/>ASLINKマスタとリモートユニット間の接続状態と、GXWorks上のX1信号状態を確認下さい。<br/>確認の結果問題ない場合は、GXWorksでY0信号(異常フラグクリア)を用いるなどしてアラーム状態を解除の上、設定ツールを再起動して下さい。</p> <p>OK</p>        |
| <p>入力信号 X2 が ON のとき</p>  |  <p>ASLINKマスタ設定</p> <p>ASLINK通信で24V-DP短絡を検知しました。<br/>ASLINKマスタとリモートユニット間の接続状態と、GXWorks上のX2信号状態を確認下さい。<br/>確認の結果問題ない場合は、GXWorksでY0信号(異常フラグクリア)を用いるなどしてアラーム状態を解除の上、設定ツールを再起動して下さい。</p> <p>OK</p>       |
| <p>入力信号 X3 が ON のとき</p>  |  <p>ASLINKマスタ設定</p> <p>ASLINK通信で伝送/電源低下を検知しました。<br/>ASLINKマスタとリモートユニット間の接続状態と、GXWorks上のX3信号状態を確認下さい。<br/>確認の結果問題ない場合は、GXWorksでY0信号(異常フラグクリア)を用いるなどしてアラーム状態を解除の上、設定ツールを再起動して下さい。</p> <p>OK</p>        |
| <p>入力信号 X4 が ON のとき</p>  |  <p>ASLINKマスタ設定</p> <p>ASLINK通信でDP-DN断線を検知しました。<br/>ASLINKマスタとリモートユニット間の接続状態と、GXWorks上のX4信号状態を確認下さい。<br/>確認の結果問題ない場合は、GXWorksでY0信号(異常フラグクリア)を用いるなどしてアラーム状態を解除の上、設定ツールを再起動して下さい。</p> <p>OK</p>       |
| <p>入力信号 X12 が ON のとき</p>   |  <p>ASLINKマスタ設定</p> <p>ASLINK通信でパラメータアクセス異常を検知しました。<br/>ASLINKマスタとリモートユニット間の接続状態と、GXWorks上のX12信号状態を確認下さい。<br/>確認の結果問題ない場合は、GXWorksでY0信号(異常フラグクリア)を用いるなどしてアラーム状態を解除の上、設定ツールを再起動して下さい。</p> <p>OK</p> |
| <p>交信系エラーが発生したとき<br/>(エラーコードは、IO-Link マスタ LINKER の“製品説明書”をご確認ください)</p> |  <p>ASLINKマスタ設定</p> <p>交信系エラーが発生しました。<br/>エラーコード：2000</p> <p>OK</p>  |
| <p>デバイスエラーが発生したとき<br/>(エラーコードは、IO-Link 規格をご確認ください)</p>                 |  <p>ASLINKマスタ設定</p> <p>デバイスエラーが発生しました。<br/>エラーコード：8000</p> <p>OK</p>   |
| <p>接続がタイムアウトしたとき</p>   |  <p>ASLINKマスタ設定</p> <p>接続がタイムアウトしました。</p> <p>OK</p>  |

通信失敗の要因については「4.3.1.タイムアウト処理発生条件」をご確認ください。

### 3.1.3 ASLINK マスタ設定画面

CPU 設定が完了すると、ASLINK マスタユニットが表示されます。  
 ※IO-Link マスタ LINKER が接続されていない ASLINK マスタユニットは表示されません。

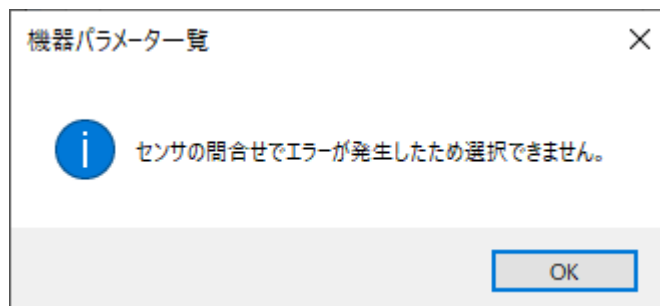


| 項目               | 画面詳細   |               |            |              |                  |                     |              |      |                        |      |      |                |      |
|------------------|--|---------------|------------|--------------|------------------|---------------------|--------------|------|------------------------|------|------|----------------|------|
| ①接続機器表示エリア       | <p>IO-Link マスタ LINKER が接続された ASLINK マスタユニットのみを抽出し、ツリー状に表示します。自動更新機能はないため、構成を変更した場合は再度 CPU 設定を実行する必要があります。表示される順番については以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ASLINK マスタユニット…先頭 I/O 番号の昇順</li> <li>・IO-Link マスタ LINKER…IO-Link マスタ LINKER のアドレス(16 進数)の昇順</li> <li>・デバイス…CH0、CH1 の順</li> </ul> <p>ASLINK マスタユニットの左側の <b>+</b> をクリックするとツリーが展開されます。</p> <table border="1" data-bbox="443 1482 1220 1630"> <tbody> <tr> <td>ASLINKマスタユニット</td> <td>RJ51AW12AL</td> <td>先頭I/O番号:0000</td> </tr> <tr> <td>IO-LinkマスタLINKER</td> <td>BL2N87SW-J2IL-2D220</td> <td>I/O入力、アドレス:0</td> </tr> <tr> <td>デバイス</td> <td>E2E-X7B4-M1TJ-IL3 0.3M</td> <td>CH 0</td> </tr> <tr> <td>デバイス</td> <td>OD1000-6001R15</td> <td>CH 1</td> </tr> </tbody> </table> <p>以下の場合、該当 CH の IO-Link デバイスは表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・COM と COM&amp;PIN2 を除く動作モード設定をした場合</li> <li>・使用 CH 設定で選択する使用しない CH</li> </ul> <p>「IO-Link マスタ LINKER」をクリックすると IO-Link マスタ LINKER 設定画面が開きます。詳細は「3.1.4.1. IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 1」に記載されています。<br/>                 「デバイス」をクリックするとデバイス設定画面が開きます。詳細は「3.1.5. デバイス (IO-Link デバイス) 設定画面 (各 CH)」に記載されています。</p> | ASLINKマスタユニット | RJ51AW12AL | 先頭I/O番号:0000 | IO-LinkマスタLINKER | BL2N87SW-J2IL-2D220 | I/O入力、アドレス:0 | デバイス | E2E-X7B4-M1TJ-IL3 0.3M | CH 0 | デバイス | OD1000-6001R15 | CH 1 |
| ASLINKマスタユニット    | RJ51AW12AL   | 先頭I/O番号:0000  |            |              |                  |                     |              |      |                        |      |      |                |      |
| IO-LinkマスタLINKER | BL2N87SW-J2IL-2D220  | I/O入力、アドレス:0  |            |              |                  |                     |              |      |                        |      |      |                |      |
| デバイス             | E2E-X7B4-M1TJ-IL3 0.3M   | CH 0          |            |              |                  |                     |              |      |                        |      |      |                |      |
| デバイス             | OD1000-6001R15   | CH 1          |            |              |                  |                     |              |      |                        |      |      |                |      |

※デバイス情報が一部読み出せていない場合、デバイス表示は赤字のグレー背景で表示されます。

| 機器             | 形名           | No.            |
|----------------|--------------|----------------|
| ☐ CPUユニット      |              |                |
| ☐ ASLINKマスタ... | RJ51AW12AL   | 先頭I/O番号:0000   |
| ☑ IO-Linkマス... | BL2N87SW-... | I/O入力, アドレス:48 |
| デバイス           |              | CH 0           |
| デバイス           |              | CH 1           |

この状態でデバイスをクリックすると以下のダイアログが表示され、デバイス設定画面を開くことができません。



<発生原因>

- CPU 読み出し中に USB 断線
- CPU 読み出し中に電源 OFF
- CPU 読み出し中に CPU 抜去
- CPU 読み出し中に ASLINK マスタ抜去
- CPU 読み出し中に ASLINK ケーブル断線
- CPU 読み出し中にデバイス断線
  
- ファイル復元中に USB 断線
- ファイル復元中に電源 OFF
- ファイル復元中に CPU 抜去
- ファイル復元中に ASLINK マスタ抜去
- ファイル復元中に ASLINK ケーブル断線
- ファイル復元中にデバイス断線

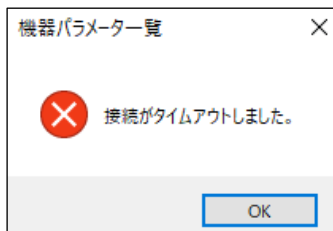
### 3.1.4 IO-LinkマスタLINKER設定画面

IO-Link マスタ LINKER をクリックすると、設定内容を読み出し、画面の各項目表示に反映します。

- ・ ASLINK マスタユニットにパラメーター斉読み出し/個別アクセス(読み出し)を行ってから、バッファメモリから取得します。(ASLINK マスタユニットを経由し IO-Link マスタ LINKER から情報取得)
- ・ IO-Link デバイスのパラメーター式 (Index 指定) 読み出しは、このタイミングでは行いません。
- ・ 読み出しが修了したらダイアログを表示します。

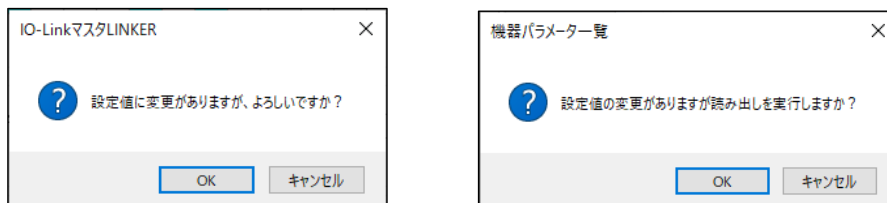


接続がタイムアウトした場合、以下の画面が表示されます。



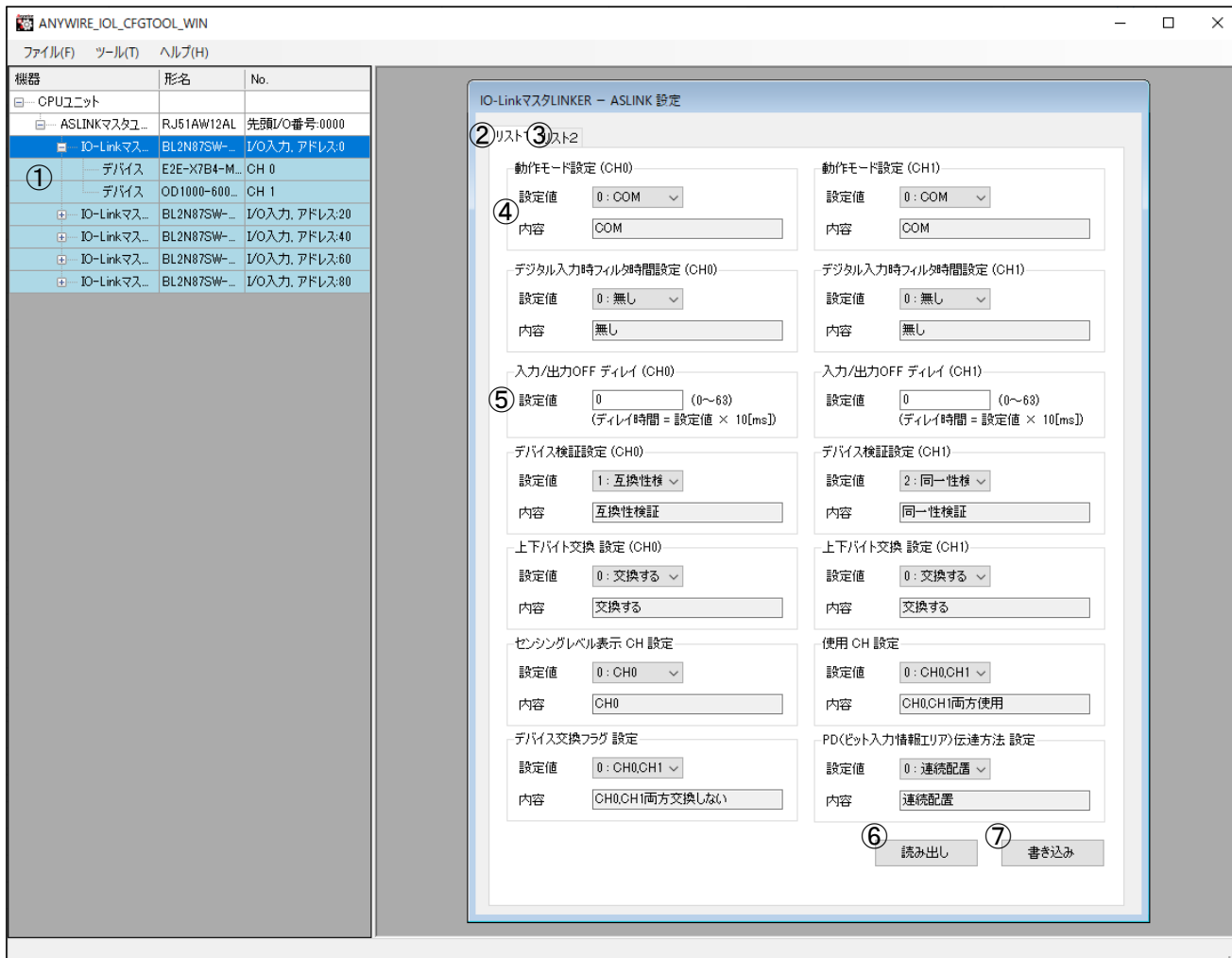
通信失敗の要因については「4.3.1.タイムアウト処理発生条件」をご確認ください。

設定を変更し、書き込みを行わずに他画面(読み出しも含む)へ移行しようとした場合、以下のダイアログが表示されます。



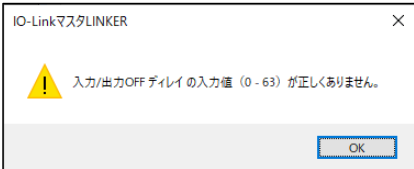
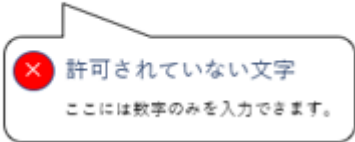
OK ボタンをクリックすると変更した設定を破棄して他画面へ移行します。

### 3.1.4.1 IO-LinkマスタLINKER設定画面 リスト1



| 項目                      | 画面詳細  |
|-------------------------|---|
| ①接続機器表示エリア              | ツリー表示で、IO-Link マスタ LINKER、IO-Link デバイスは水色で表示する。   |
| ②タブ リスト 1               | クリックするとリスト 1 が開きます。   |
| ③タブ リスト 2               | クリックするとリスト 2 が開きます<br>詳細は「3.1.4.2. IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 2」をご確認ください。  |
| ④設定値・内容<br>(ドロップダウンリスト) | <p>▼となっている箇所は、ドロップダウンリストを表示します。各項目の入力値の範囲に合わせて選択することができます。ドロップダウンリストで選択した後、書き込みボタンをクリックすることで設定を反映します。「内容」には現在の設定を表示します。</p> <p>PD(ビット入力情報エリア)伝達方法設定については、ビットアドレス設定時のみ設定可能で、ワードアドレス設定時はグレーアウトします。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>PD(ビット入力情報エリア)伝達方法 設定</p> <p>設定値 <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;">▼</span></p> <p>内容 <span style="border: 1px solid gray; padding: 2px;"> </span></p> </div> |
| ⑤設定値(入力/出力 OFF デレイ)     | <p>テキストボックスで設定値を入力することができ、読み出しを実行すると現在の設定がここに表示されます。</p> <p>テキストボックスで設定できる値の範囲は 0～63 で、実際に設定される入力/出力 OFF デレイ時間は設定値 × 10[ms](0ms～630ms)です。</p> <p>範囲外の値を入力した場合はエラーがダイアログ表示され、ユーザが範囲内の値を書き込むまでは、他箇所への入力はできません。</p>  |



|          |  |
|----------|--|
|          |  <p>数字以外を入力しようとした場合、テキストボックスには反映されず、以下のように表示されます。</p> <p>設定値 <input type="text"/> (0~63)</p>  <p>テキストボックスが空欄の状態では他の部分をクリックした場合 0 が入力されます。</p> <p>設定値入力後、書き込みボタンをクリックすることで設定を反映します。</p> |
| ⑥読み出しボタン | クリックすると現在の設定を読み出します。画面表示の詳細は「3.1.4.3.機器パラメータ読み書き」をご確認ください。   |
| ⑦書き込みボタン | クリックすると表示されている設定値を書き込みます。画面表示の詳細は「3.1.4.3.機器パラメータ読み書き」をご確認ください。  |

機器パラメータの設定

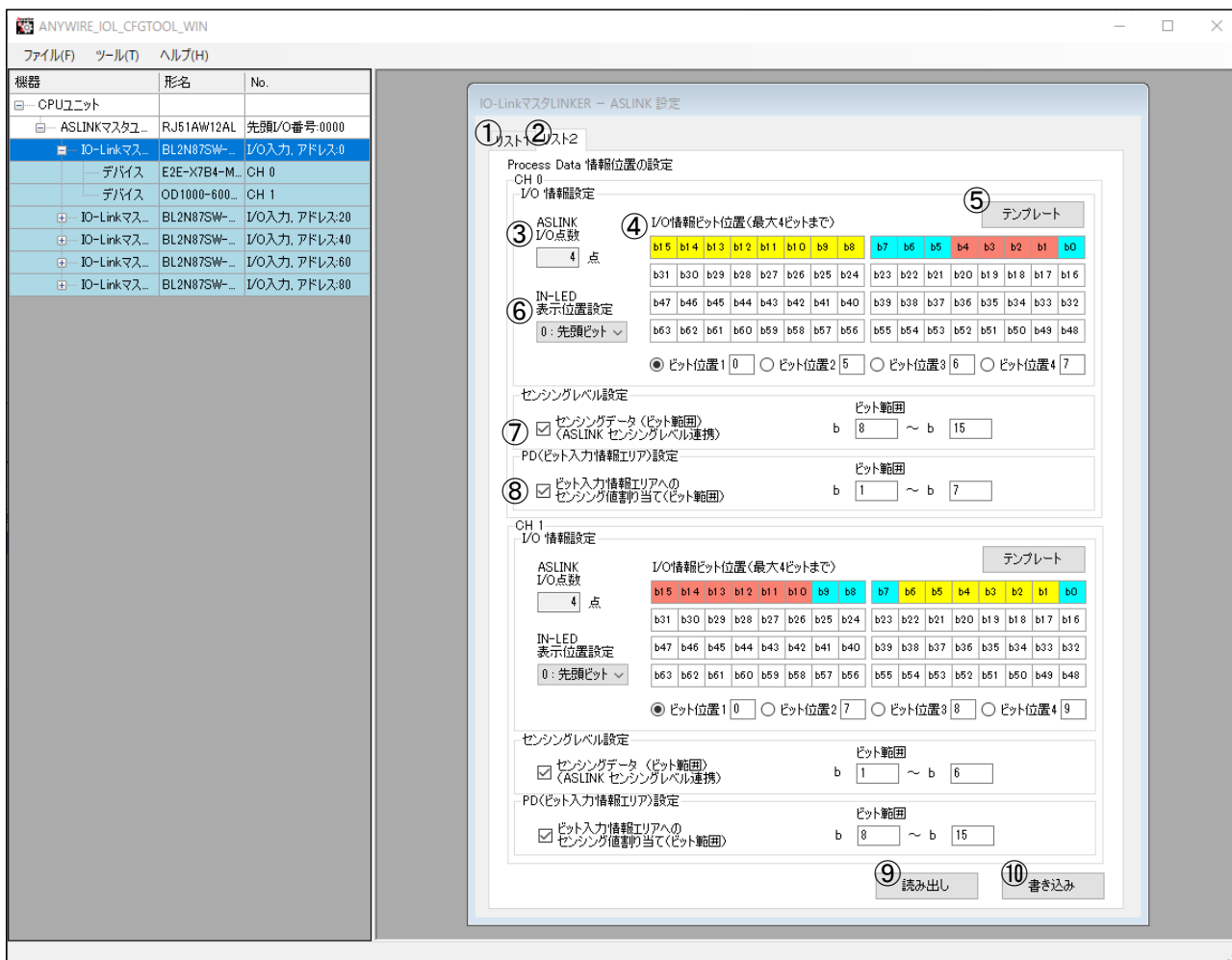
| 名称              | 説明   | 設定範囲                           | 初期値 |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |
|-----------------|--|--------------------------------|-----|----|----|-----|---------------|---|----------|-------------|-----|----------|--------------------------------|---|------|---------------|------|----------|---------------------------|---|----|-----------------|-----|---|
| 動作モード設定         | <p>(CH0)<br/>接続する外部機器に応じて動作モードを設定します。</p> <table border="1" data-bbox="464 1196 1126 1464"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>設定</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>COM</td> <td>IO-Link モード有効</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>SIO (DI)</td> <td>デジタル入力モード有効</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>SIO (DO)</td> <td>デジタル出力モード有効 (予約)<sup>※1</sup></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>PIN2</td> <td>専用デジタル入力ポート有効</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>COM&amp;PIN2</td> <td>IO-Link モード&amp;専用デジタル入力ポート有効</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>無効</td> <td>デバイスを接続しない場合に設定</td> </tr> </tbody> </table> <p>(CH1)<br/>CH0 と同じ</p> | 値                              | 設定  | 説明 | 0  | COM | IO-Link モード有効 | 1 | SIO (DI) | デジタル入力モード有効 | 2   | SIO (DO) | デジタル出力モード有効 (予約) <sup>※1</sup> | 3 | PIN2 | 専用デジタル入力ポート有効 | 4    | COM&PIN2 | IO-Link モード&専用デジタル入力ポート有効 | 5 | 無効 | デバイスを接続しない場合に設定 | 0~5 | 0 |
| 値               | 設定   | 説明                             |     |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |
| 0               | COM  | IO-Link モード有効                  |     |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |
| 1               | SIO (DI)   | デジタル入力モード有効                    |     |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |
| 2               | SIO (DO)   | デジタル出力モード有効 (予約) <sup>※1</sup> |     |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |
| 3               | PIN2   | 専用デジタル入力ポート有効                  |     |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |
| 4               | COM&PIN2   | IO-Link モード&専用デジタル入力ポート有効      |     |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |
| 5               | 無効   | デバイスを接続しない場合に設定                |     |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |
| デジタル入力時フィルタ時間設定 | <p>(CH0)<br/>SIO (DI) モード時のデジタル入力、PIN2 デジタル入力に対し、フィルタ時間間隔を設定します。</p> <table border="1" data-bbox="464 1659 619 1928"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>1.0ms</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1.5ms</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5ms</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>10ms</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>20ms</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>70ms</td> </tr> </tbody> </table> <p>(CH1)<br/>CH0 と同じ</p>   | 値                              | 設定  | 0  | 無し | 1   | 1.0ms         | 2 | 1.5ms    | 3           | 5ms | 4        | 10ms                           | 5 | 20ms | 6             | 70ms | 0~6      | 0                         |   |    |                 |     |   |
| 値               | 設定   |                                |     |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |
| 0               | 無し   |                                |     |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |
| 1               | 1.0ms  |                                |     |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |
| 2               | 1.5ms  |                                |     |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |
| 3               | 5ms  |                                |     |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |
| 4               | 10ms   |                                |     |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |
| 5               | 20ms   |                                |     |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |
| 6               | 70ms   |                                |     |    |    |     |               |   |          |             |     |          |                                |   |      |               |      |          |                           |   |    |                 |     |   |

| <p>入力/出力 OFF デレイ</p>    | <p>(CH0)<br/>                     入力/出力時に以下の時間を設定します。<br/>                     入力時:OFF に切替後、OFF 判定実行までの時間<br/>                     出力時:OFF 判定から、実際に出力するまでの時間</p> <table border="1" data-bbox="464 297 646 658"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>無し</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>10ms</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>20ms</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>30ms</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">}</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>600ms</td> </tr> <tr> <td>61</td> <td>610ms</td> </tr> <tr> <td>62</td> <td>620ms</td> </tr> <tr> <td>63</td> <td>630ms</td> </tr> </tbody> </table> <p>(CH1)<br/>                     CH0 と同じ</p> | 値                               | 設定 | 0    | 無し              | 1     | 10ms     | 2          | 20ms     | 3                 | 30ms           | }          |                                 | 60         | 600ms    | 61 | 610ms | 62 | 620ms | 63 | 630ms | <p>0~63</p> | <p>0</p> |
|-------------------------|--|---------------------------------|----|------|-----------------|-------|----------|------------|----------|-------------------|----------------|------------|---------------------------------|------------|----------|----|-------|----|-------|----|-------|-------------|----------|
| 値                       | 設定   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 0                       | 無し   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 1                       | 10ms   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 2                       | 20ms   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 3                       | 30ms   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| }                       |  |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 60                      | 600ms  |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 61                      | 610ms  |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 62                      | 620ms  |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 63                      | 630ms  |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| <p>デバイス検証設定</p>         | <p>(CH0)<br/>                     交換前と交換後の IO-Link デバイスの情報を比較します。</p> <table border="1" data-bbox="464 837 1098 972"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>方法</th> <th>比較対象</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>検証しない</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>互換性検証</td> <td>VendorID、DeviceID</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>同一性検証</td> <td>VendorID、DeviceID、Serial Number</td> </tr> </tbody> </table> <p>(CH1)<br/>                     CH0 と同じ</p>   | 値                               | 方法 | 比較対象 | 0               | 検証しない | —        | 1          | 互換性検証    | VendorID、DeviceID | 2              | 同一性検証      | VendorID、DeviceID、Serial Number | <p>0~2</p> | <p>2</p> |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 値                       | 方法   | 比較対象                            |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 0                       | 検証しない  | —                               |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 1                       | 互換性検証  | VendorID、DeviceID               |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 2                       | 同一性検証  | VendorID、DeviceID、Serial Number |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| <p>上下バイト交換設定</p>        | <p>(CH0)<br/>                     PD の上下バイト位置を交換します。</p> <table border="1" data-bbox="464 1167 726 1263"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>交換する</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>交換しない</td> </tr> </tbody> </table> <p>(CH1)<br/>                     CH0 と同じ</p>  | 値                               | 設定 | 0    | 交換する            | 1     | 交換しない    | <p>0~1</p> | <p>0</p> |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 値                       | 設定   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 0                       | 交換する   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 1                       | 交換しない  |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| <p>センシングレベル表示 CH 設定</p> | <p>センシングレベルに表示する CH を選択します。</p> <table border="1" data-bbox="464 1420 646 1516"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>CH0</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>CH1</td> </tr> </tbody> </table>  | 値                               | 設定 | 0    | CH0             | 1     | CH1      | <p>0~1</p> | <p>0</p> |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 値                       | 設定   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 0                       | CH0  |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 1                       | CH1  |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| <p>使用 CH 設定</p>         | <p>使用する CH を設定します。</p> <table border="1" data-bbox="464 1599 826 1733"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>CH0、CH1 両方使用</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>CH0 のみ使用</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>CH1 のみ使用</td> </tr> </tbody> </table>   | 値                               | 設定 | 0    | CH0、CH1 両方使用    | 1     | CH0 のみ使用 | 2          | CH1 のみ使用 | <p>0~2</p>        | <p>0</p>       |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 値                       | 設定   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 0                       | CH0、CH1 両方使用   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 1                       | CH0 のみ使用   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 2                       | CH1 のみ使用   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| <p>デバイス交換フラグ設定</p>      | <p>デバイス交換時にフラグを設定します。</p> <table border="1" data-bbox="464 1807 831 1973"> <thead> <tr> <th>値</th> <th>設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>CH0、CH1 両方交換しない</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>CH0 のみ交換</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>CH1 のみ交換</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>CH0、CH1 両方交換する</td> </tr> </tbody> </table>   | 値                               | 設定 | 0    | CH0、CH1 両方交換しない | 1     | CH0 のみ交換 | 2          | CH1 のみ交換 | 3                 | CH0、CH1 両方交換する | <p>0~3</p> | <p>0</p>                        |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 値                       | 設定   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 0                       | CH0、CH1 両方交換しない  |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 1                       | CH0 のみ交換   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 2                       | CH1 のみ交換   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |
| 3                       | CH0、CH1 両方交換する   |                                 |    |      |                 |       |          |            |          |                   |                |            |                                 |            |          |    |       |    |       |    |       |             |          |

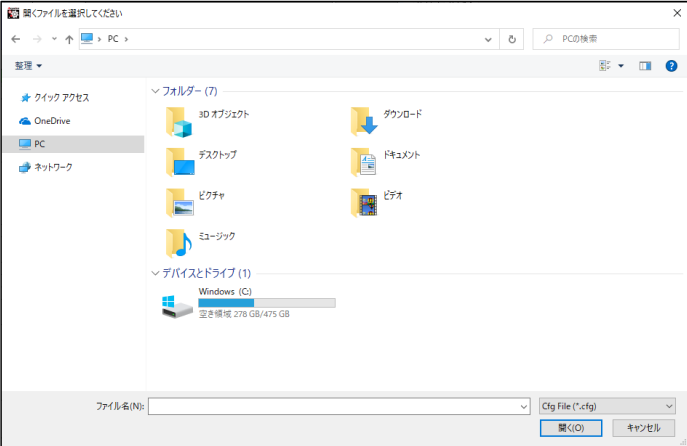
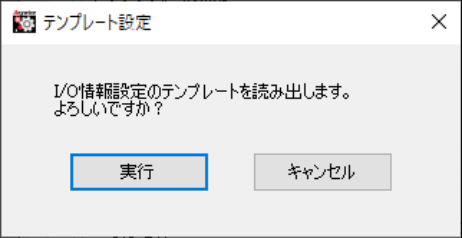

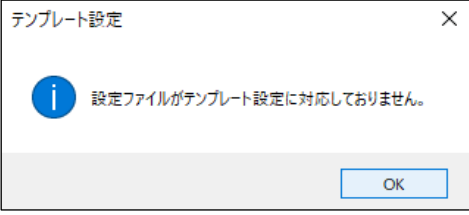
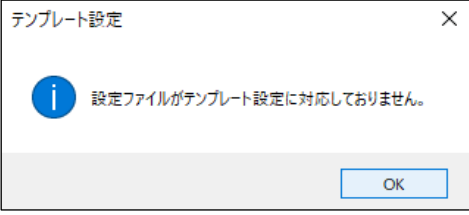
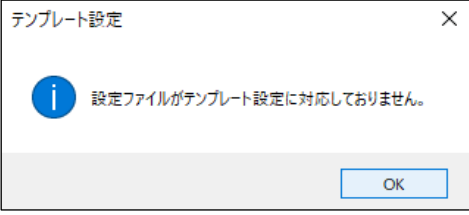
|                    |                                    |                                  |     |   |                                  |
|--------------------|------------------------------------|----------------------------------|-----|---|----------------------------------|
| PD(ビット入力情報エリア)伝達方法 | PD(ビット入力情報エリア)とON/OFFビットの配置を設定します。 |                                  | 0~1 | 0 |                                  |
|                    | 値                                  | 設定                               |     |   | 説明                               |
|                    | 0                                  | 連続配置                             |     |   | PD(ビット入力情報エリア)とON/OFFビット情報は連続配置。 |
| 1                  | 分離配置                               | PD(ビット入力情報エリア)とON/OFFビット情報は分離配置。 |     |   |                                  |

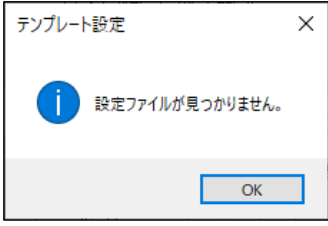
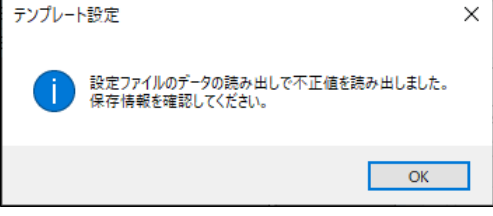
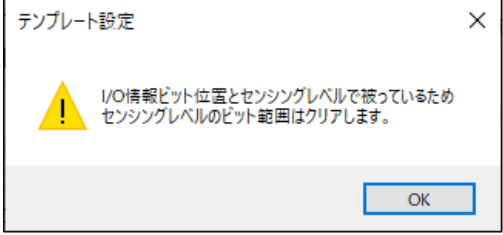
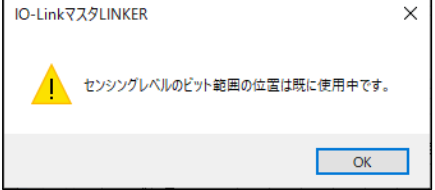
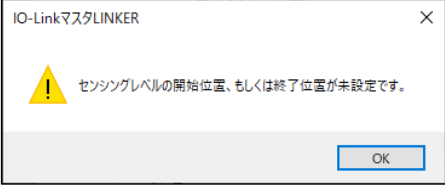
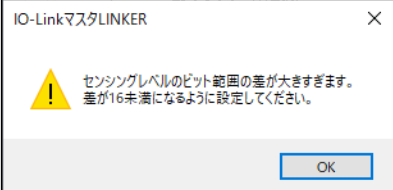
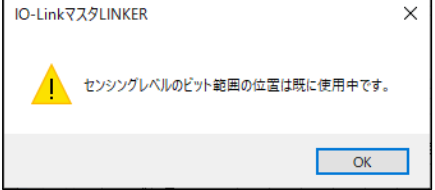
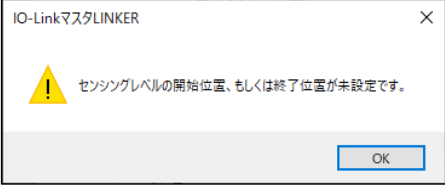
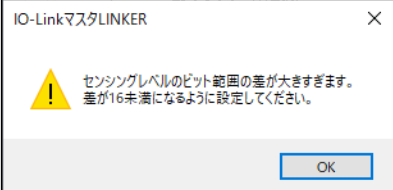
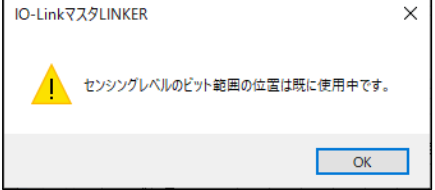
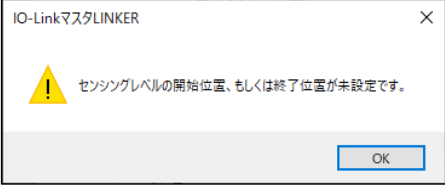
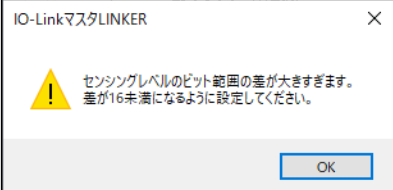
※1 予約機能のため、SIO(DO)を指定して書き込みを実行した際はエラー発生ダイアログが表示されます。エラー時の動作は「3.1.4.3.機器パラメータ読み書き」をご確認ください。

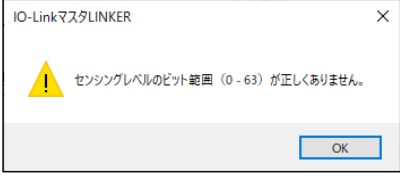
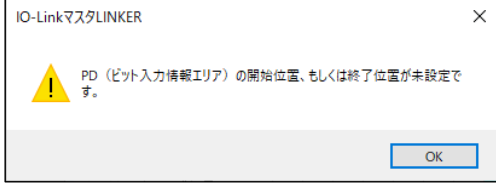

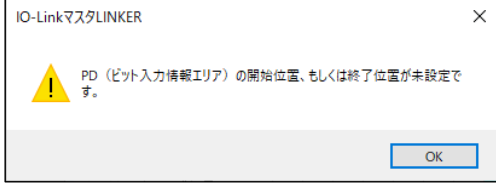

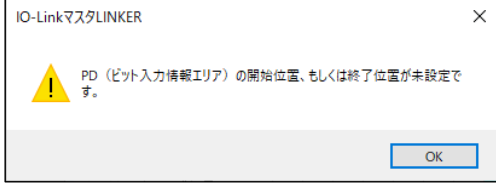

### 3.1.4.2 IO-LinkマスタLINKER設定画面 リスト2



| 項目                          | 画面詳細   |      |               |      |                |    |   |          |    |   |                 |      |   |                             |       |   |                           |         |   |
|-----------------------------|--|------|---------------|------|----------------|----|---|----------|----|---|-----------------|------|---|-----------------------------|-------|---|---------------------------|---------|---|
| ①タブ リスト 1                   | クリックするとリスト 1 が開きます。<br>詳細は「3.1.4.1. IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 1」をご確認ください。  |      |               |      |                |    |   |          |    |   |                 |      |   |                             |       |   |                           |         |   |
| ②タブ リスト 2                   | クリックするとリスト 2 が開きます。  |      |               |      |                |    |   |          |    |   |                 |      |   |                             |       |   |                           |         |   |
| ③ASLINK I/O 点数              | I/O 情報ビット位置 (PD 上 ON/OFF 位置) で指定した点数が反映されます。   |      |               |      |                |    |   |          |    |   |                 |      |   |                             |       |   |                           |         |   |
| ④ I/O 情報ビット位置               | <p>I/O 情報ビット位置では、データを取得したいビット位置 (PD 上 ON/OFF 位置) を選択できます。ビット位置 1~4 のラジオボタンで設定したい項目を選択し、項目 1 つにつきビット位置を 1 つ指定できます。ビット位置を指定すると、対応するテキストボックスに指定したビット位置が表示されます (入力不可)。</p> <p>※PD 情報内のデータ配置 (「ビット位置」「バイト位置」「ワード位置」) は、IO-Link デバイスメーカーによって、順序や番号が異なる場合があります。IO-Link デバイスメーカーのマニュアルに記載のデータ位置をよくご確認の上、設定ツール上ではデータ位置を設定してください。</p> <p>ビット位置は指定したタイミングで以下のように表示されます (この時点では設定は反映されません)。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>設定</th> <th>I/O 情報ビット位置表示</th> <th>設定可否</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PD 上 ON/OFF 位置</td> <td>水色</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>センシングレベル</td> <td>黄色</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>PD (ビット入力情報エリア)</td> <td>薄い赤色</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>センシングレベル、PD (ビット入力情報エリア) 重複</td> <td>オレンジ色</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>PD 上 ON/OFF 位置、センシングレベル重複</td> <td>黄色 (赤字)</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> | 設定   | I/O 情報ビット位置表示 | 設定可否 | PD 上 ON/OFF 位置 | 水色 | ○ | センシングレベル | 黄色 | ○ | PD (ビット入力情報エリア) | 薄い赤色 | ○ | センシングレベル、PD (ビット入力情報エリア) 重複 | オレンジ色 | ○ | PD 上 ON/OFF 位置、センシングレベル重複 | 黄色 (赤字) | × |
| 設定                          | I/O 情報ビット位置表示  | 設定可否 |               |      |                |    |   |          |    |   |                 |      |   |                             |       |   |                           |         |   |
| PD 上 ON/OFF 位置              | 水色   | ○    |               |      |                |    |   |          |    |   |                 |      |   |                             |       |   |                           |         |   |
| センシングレベル                    | 黄色   | ○    |               |      |                |    |   |          |    |   |                 |      |   |                             |       |   |                           |         |   |
| PD (ビット入力情報エリア)             | 薄い赤色   | ○    |               |      |                |    |   |          |    |   |                 |      |   |                             |       |   |                           |         |   |
| センシングレベル、PD (ビット入力情報エリア) 重複 | オレンジ色  | ○    |               |      |                |    |   |          |    |   |                 |      |   |                             |       |   |                           |         |   |
| PD 上 ON/OFF 位置、センシングレベル重複   | 黄色 (赤字)  | ×    |               |      |                |    |   |          |    |   |                 |      |   |                             |       |   |                           |         |   |

|                        | PD 上 ON/OFF 位置、PD(ビット入力情報エリア)重複<br>PD 上 ON/OFF 位置、センシングレベル、<br>PD(ビット入力情報エリア)重複<br>○:設定可 / ×:設定不可   | 水色<br>オレンジ色(赤字) | ○<br>× |         |       |                        |  |
|------------------------|---|-----------------|--------|---------|-------|------------------------|--|
| ⑤テンプレート設定              | <p>ダウンロード(編集)した I/O 情報ビット位置とセンシングレベル設定を呼び出すことができます。(設定を反映させる場合は書き込みボタンをクリックする必要があります)</p> <p>クリックするとファイル選択画面が表示されます。</p>  <p>開くファイルを選択して開く(O) ボタンをクリックすると以下のようなダイアログが表示されます。</p>  <p>実行ボタンをクリックすると I/O 情報設定のテンプレート読み出しを開始します。</p> <p>設定画面の復元が完了すると以下のようなダイアログが表示され、OK ボタンをクリックするとダイアログが閉じます。</p>  <p>テンプレートの読み出しが正常完了した際は、各項目のチェックボックスがチェックありになり設定値が有効になります。</p> <p>その他異常完了画面は以下の通りです。</p> <table border="1" data-bbox="427 1803 1412 2096"> <thead> <tr> <th data-bbox="427 1803 869 1848">発生タイミング</th> <th data-bbox="869 1803 1412 1848">ダイアログ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="427 1848 869 2096">                             対応していないファイルを選択して実行したとき                         </td> <td data-bbox="869 1848 1412 2096">  </td> </tr> </tbody> </table> |                 |        | 発生タイミング | ダイアログ | 対応していないファイルを選択して実行したとき |  |
| 発生タイミング                | ダイアログ   |                 |        |         |       |                        |  |
| 対応していないファイルを選択して実行したとき |   |                 |        |         |       |                        |  |

|                                       | <p>処理中に設定ファイルが削除されたとき</p>   |   |            |       |                                       |  |                            |  |                           |  |
|---------------------------------------|---|---|------------|-------|---------------------------------------|--|----------------------------|--|---------------------------|--|
|                                       | <p>不正値(ビット位置 65 以上、ビット位置重複)を読み出したとき</p>   |   |            |       |                                       |  |                            |  |                           |  |
|                                       | <p>I/O 情報ビット位置、センシングレベル設定のビット範囲重複しているとき</p>   |  <p>OK ボタンをクリックするとセンシングレベルのビット範囲が空欄になった状態で読み出しが完了します。</p> |            |       |                                       |  |                            |  |                           |  |
| <p>⑥IN-LED 表示位置設定</p>                 | <p>IN-LED 表示位置設定のドロップダウンリストでは、先頭ビット、I/O ビット設定 1~5、PIN2 出力の 7 つのうちいずれかから LED 点灯に反映するビットを選択することができます。</p>   |   |            |       |                                       |  |                            |  |                           |  |
| <p>⑦センシングレベル設定</p>                    | <p>センシングレベル設定では、データを取得したいビット範囲を設定することができます。ここで設定したビット範囲の値は「3.1.5.デバイス(IO-Link デバイス)設定画面(各 CH)」のセンシングレベル欄に表示されます。</p> <p>設定値に問題がある場合は、書き込みボタンクリック時にダイアログが表示されます。</p> <table border="1" data-bbox="421 1330 1401 2047"> <thead> <tr> <th data-bbox="421 1330 884 1361">センシングレベル設定</th> <th data-bbox="890 1330 1401 1361">ダイアログ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="421 1370 884 1585"> <p>I/O 情報ビット位置、センシングレベル設定のビット範囲重複</p> </td> <td data-bbox="890 1370 1401 1585">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="421 1594 884 1809"> <p>終了位置未設定<br/>開始位置未設定</p> </td> <td data-bbox="890 1594 1401 1809">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="421 1818 884 2047"> <p>開始位置、終了位置の差が 16 以上</p> </td> <td data-bbox="890 1818 1401 2047">  </td> </tr> </tbody> </table> |   | センシングレベル設定 | ダイアログ | <p>I/O 情報ビット位置、センシングレベル設定のビット範囲重複</p> |  | <p>終了位置未設定<br/>開始位置未設定</p> |  | <p>開始位置、終了位置の差が 16 以上</p> |  |
| センシングレベル設定                            | ダイアログ   |   |            |       |                                       |  |                            |  |                           |  |
| <p>I/O 情報ビット位置、センシングレベル設定のビット範囲重複</p> |   |   |            |       |                                       |  |                            |  |                           |  |
| <p>終了位置未設定<br/>開始位置未設定</p>            |   |   |            |       |                                       |  |                            |  |                           |  |
| <p>開始位置、終了位置の差が 16 以上</p>             |   |   |            |       |                                       |  |                            |  |                           |  |

|   | <p>開始位置 &gt; 終了位置</p>  |  |       |                            |  |                           |  |                       |  |
|---|--|--|-------|----------------------------|--|---------------------------|--|-----------------------|--|
|   | <p>ビット範囲 (0 - 63) が正しくない</p>   |  |       |                            |  |                           |  |                       |  |
| <p>⑧PD (ビット入力情報エリア) 設定</p> <p>※ビットアドレス設定時のみ設定可能です。ワードアドレス設定時はグレーアウトします。</p> | <p>PD (ビット入力情報エリア) 設定では、データを取得したいビット範囲を設定することができます。ここで設定したビット範囲の値は「3.1.5.デバイス (IO-Link デバイス) 設定画面 (各 CH)」の PD (ビット入力情報エリア) 欄に表示されます。</p> <p>PD (ビット入力情報エリア) はビットアドレス設定時のみ設定可能で、ワードアドレス設定時はグレーアウトします。</p> <div data-bbox="424 1043 1161 1126" style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>PD (ビット入力情報エリア) 設定</p> <p><input type="checkbox"/> ビット入力情報エリアへのセンシング値割当て (ビット範囲)</p> <p style="text-align: right;">ビット範囲</p> <p style="text-align: center;">b <input type="text"/> ~ b <input type="text"/></p> </div> <p>設定値に問題がある場合は、書き込みボタンクリック時にダイアログが表示されます。</p> <table border="1" data-bbox="424 1200 1410 1955"> <thead> <tr> <th data-bbox="424 1200 858 1234">PD (ビット入力情報エリア) 設定</th> <th data-bbox="858 1200 1410 1234">ダイアログ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="424 1234 858 1491"> <p>終了位置未設定<br/>開始位置未設定</p> </td> <td data-bbox="858 1234 1410 1491">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="424 1491 858 1749"> <p>開始位置、終了位置の差が 16 以上</p> </td> <td data-bbox="858 1491 1410 1749">  </td> </tr> <tr> <td data-bbox="424 1749 858 2000"> <p>開始位置 &gt; 終了位置</p> </td> <td data-bbox="858 1749 1410 2000">  </td> </tr> </tbody> </table> | PD (ビット入力情報エリア) 設定   | ダイアログ | <p>終了位置未設定<br/>開始位置未設定</p> |  | <p>開始位置、終了位置の差が 16 以上</p> |  | <p>開始位置 &gt; 終了位置</p> |  |
| PD (ビット入力情報エリア) 設定  | ダイアログ  |  |       |                            |  |                           |  |                       |  |
| <p>終了位置未設定<br/>開始位置未設定</p>  |    |  |       |                            |  |                           |  |                       |  |
| <p>開始位置、終了位置の差が 16 以上</p>   |    |  |       |                            |  |                           |  |                       |  |
| <p>開始位置 &gt; 終了位置</p>   |    |  |       |                            |  |                           |  |                       |  |

ビット範囲(0 - 63)が正しくない

×

PD (ビット入力情報エリア) のビット範囲 (0 - 63) が正しくありません。

センシングレベルビット範囲の項目のチェックボックスの仕様は以下のとおりです。  
 チェックあり:PD(ビット入力情報エリア)設定のビット範囲の設定値が有効  
 チェックなし:PD(ビット入力情報エリア)設定のビット範囲の設定値が無効  
 チェックなしの場合はテキストボックスがグレーアウトします。このとき書き込みボタンをクリックすると、当該データはクリアの状態で確定し、IO-Link マスタ LINKER 本体へ書き込まれます。

**【表示例 1】**  
 PD 上 ON/OFF 位置 1:b0  
 PD 上 ON/OFF 位置 2:b8  
 PD 上 ON/OFF 位置 3:b16  
 PD 上 ON/OFF 位置 4:b24  
 センシングレベル:b32~b39  
 PD(ビット入力情報エリア):b33~37

|                      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |  |  |  |
|----------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|--|--|--|
| I/O情報ビット位置(最大4ビットまで) |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | テンプレート |  |  |  |
| b15                  | b14 | b13 | b12 | b11 | b10 | b9  | b8  | b7  | b6  | b5  | b4  | b3  | b2  | b1  | b0  |        |  |  |  |
| b31                  | b30 | b29 | b28 | b27 | b26 | b25 | b24 | b23 | b22 | b21 | b20 | b19 | b18 | b17 | b16 |        |  |  |  |
| b47                  | b46 | b45 | b44 | b43 | b42 | b41 | b40 | b39 | b38 | b37 | b36 | b35 | b34 | b33 | b32 |        |  |  |  |
| b63                  | b62 | b61 | b60 | b59 | b58 | b57 | b56 | b55 | b54 | b53 | b52 | b51 | b50 | b49 | b48 |        |  |  |  |

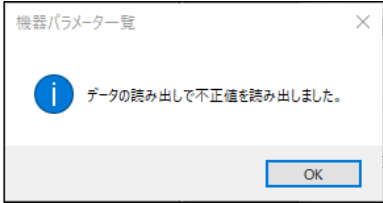
**【表示例 2】**  
 PD 上 ON/OFF 位置 1:b0  
 PD 上 ON/OFF 位置 2:b8  
 PD 上 ON/OFF 位置 3:b16  
 PD 上 ON/OFF 位置 4:b24  
 センシングレベル:b32~b39  
 PD(ビット入力情報エリア):b48~55

|                      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |  |  |  |
|----------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|--|--|--|
| I/O情報ビット位置(最大4ビットまで) |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | テンプレート |  |  |  |
| b15                  | b14 | b13 | b12 | b11 | b10 | b9  | b8  | b7  | b6  | b5  | b4  | b3  | b2  | b1  | b0  |        |  |  |  |
| b31                  | b30 | b29 | b28 | b27 | b26 | b25 | b24 | b23 | b22 | b21 | b20 | b19 | b18 | b17 | b16 |        |  |  |  |
| b47                  | b46 | b45 | b44 | b43 | b42 | b41 | b40 | b39 | b38 | b37 | b36 | b35 | b34 | b33 | b32 |        |  |  |  |
| b63                  | b62 | b61 | b60 | b59 | b58 | b57 | b56 | b55 | b54 | b53 | b52 | b51 | b50 | b49 | b48 |        |  |  |  |

**【表示例 3】**  
 PD 上 ON/OFF 位置 1:b0  
 PD 上 ON/OFF 位置 2:b8  
 PD 上 ON/OFF 位置 3:b16  
 PD 上 ON/OFF 位置 4:b27  
 センシングレベル:b0~b7  
 PD(ビット入力情報エリア):b24~31

|                      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |        |  |  |  |
|----------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|--|--|--|
| I/O情報ビット位置(最大4ビットまで) |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     |     | テンプレート |  |  |  |
| b15                  | b14 | b13 | b12 | b11 | b10 | b9  | b8  | b7  | b6  | b5  | b4  | b3  | b2  | b1  | b0  |        |  |  |  |
| b31                  | b30 | b29 | b28 | b27 | b26 | b25 | b24 | b23 | b22 | b21 | b20 | b19 | b18 | b17 | b16 |        |  |  |  |
| b47                  | b46 | b45 | b44 | b43 | b42 | b41 | b40 | b39 | b38 | b37 | b36 | b35 | b34 | b33 | b32 |        |  |  |  |
| b63                  | b62 | b61 | b60 | b59 | b58 | b57 | b56 | b55 | b54 | b53 | b52 | b51 | b50 | b49 | b48 |        |  |  |  |



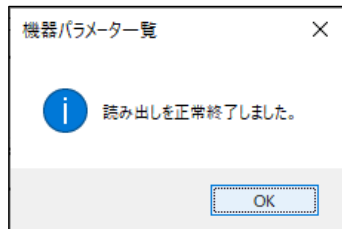
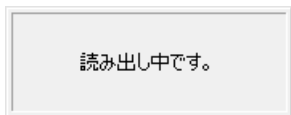
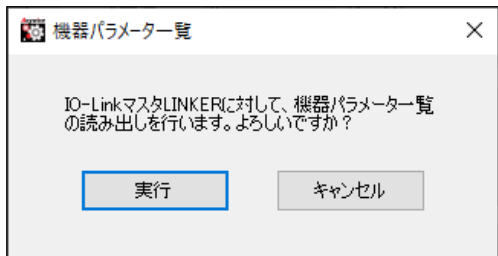
|          |  |
|----------|--|
|          | <p>(PD 上 ON/OFF 位置とセンシングレベルが重複しているため設定不可)</p> <p>※設定不可のビット位置を指定した場合や、設定不可の状態からビット位置を変更した場合に上記通りの表示にならない場合があります。表示を正常状態に戻す場合は、一度読み出しを実行してから正しいビット位置を指定してください。</p>   |
| ⑨読み出しボタン | <p>クリックすると現在の設定を読み出します。画面表示の詳細は「3.1.4.3.機器パラメータ読み書き」をご確認ください。</p> <p>読み出しを実行して不正値(I/O 情報ビット位置とセンシングレベルのビット位置重複、もしくは I/O 情報ビット位置と PD(ビット入力情報エリア)のビット位置重複)を読み出した場合に、以下のダイアログが表示されます。</p>  |
| ⑩書き込みボタン | <p>クリックすると各項目の設定値に入力した値を書き込みます。画面表示の詳細は「3.1.4.3.機器パラメータ読み書き」をご確認ください。</p>  |

※③～⑧は CH 毎に設定できます。

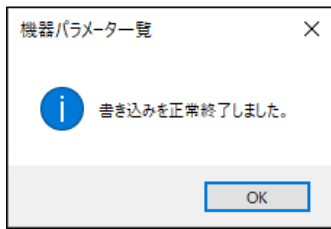
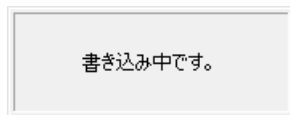
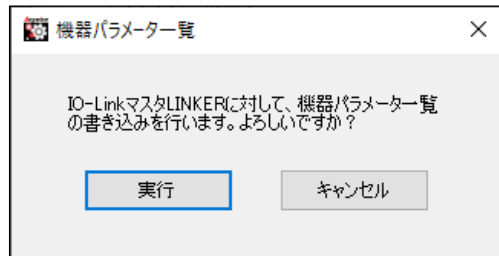
### 3.1.4.3 機器パラメータ読み書き

IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 1、2 で、「読み出し」「書き込み」をクリックした際の動作です。

読み出しをクリックした場合

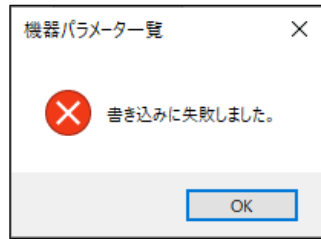
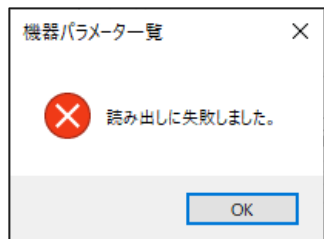


書き込みをクリックした場合



※1

エラー発生時は、以下のダイアログが表示されます。

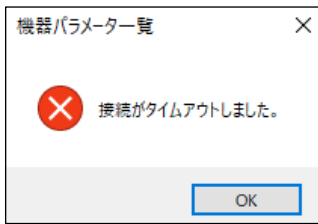


※2

※1 書き込んだ内容を確認する場合は機器パラメータ読み出しを実行する必要があります。

※2 使用 CH 設定で未使用になっている CH に対して設定を変更し、書き込みを実行した場合は書き込み失敗となります。

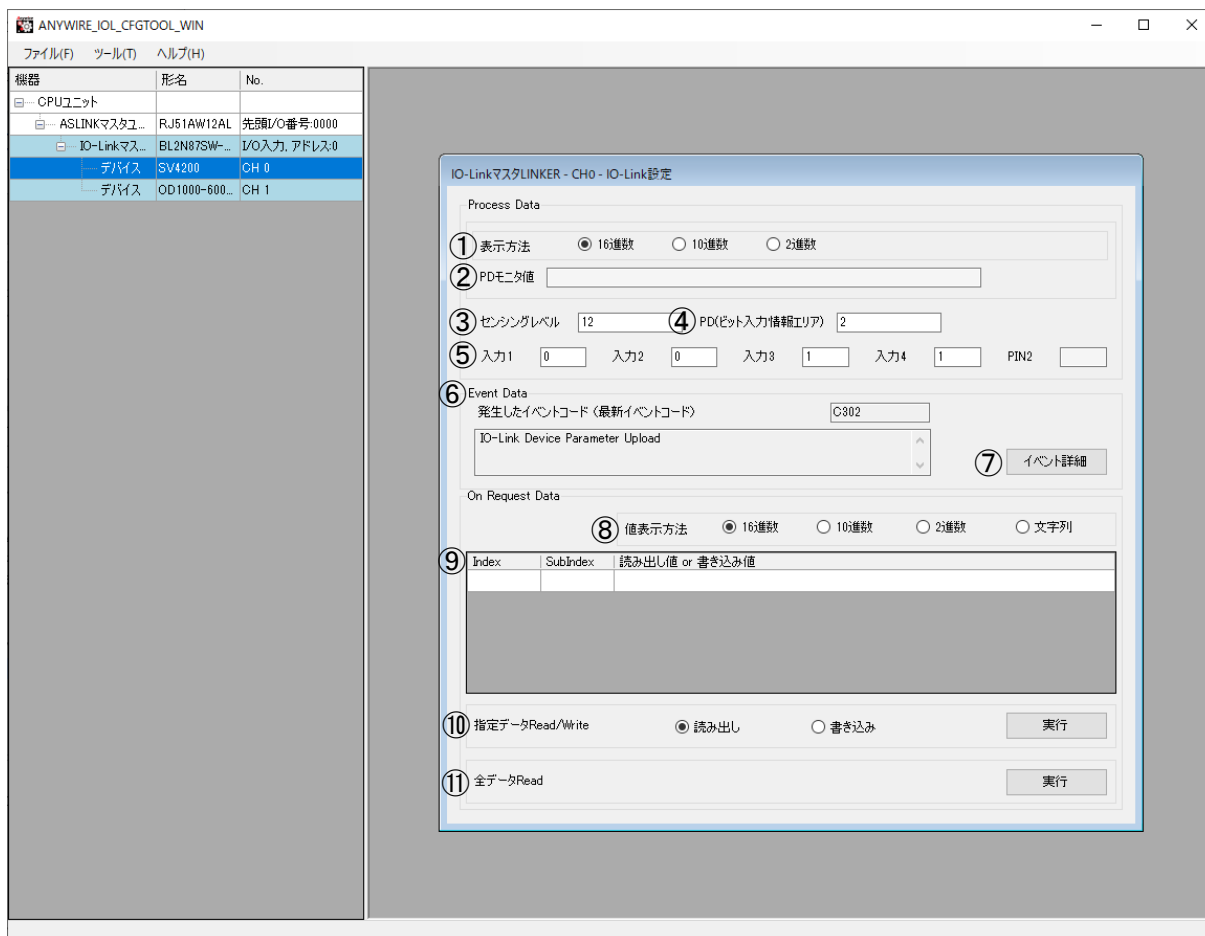
接続がタイムアウトした場合、以下のダイアログが表示されます。



通信失敗の要因については「4.3.1.タイムアウト処理発生条件」をご確認ください。

### 3.1.5 デバイス(IO-Linkデバイス)設定画面(各CH)


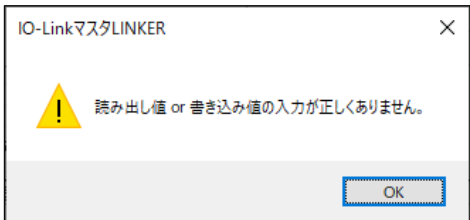
下図は、左側ツリー表示で、デバイスをクリックした場合の画面です。※IODD ファイルには対応していません。



#### 注意

モニタ値②～⑤の更新時間は、ASLINK 通信と IO-Link 通信の影響を受けますので実際のデータがモニタに反映されるまでにタイムラグがあります。  
ASLINK の処理時間は、リモートユニットの伝送点数や接続台数によって異なります。  
IO-Link の処理時間は、伝送速度 (COM1、COM2、COM3)によって異なります。

| 項目        | 画面詳細   |
|-----------|--|
| ①PD 表示方法  | PD モニタ値の表示方法の選択ができます(16 進数、10 進数、2 進数)。<br>接続機器表示エリアのツリー表示で、現在選択していない IO-Link マスタ LINKER に接続されているデバイスをクリックすると、選択状態がデフォルト(16 進数)に戻ります。  |
| ②PD モニタ値  | 動作モードが“COM”または“COM&PIN2”の時に Process Data 全体の値を表示します。それ以外の動作モードの場合はグレーアウトします。<br>デバイスとの通信が確立されている場合、周期的に読み出しを行い値を表示します。   |
| ③センシングレベル | 動作モードが“COM”または“COM&PIN2”の時に、「3.1.4.2. IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 2」センシングレベル設定で設定したビット範囲の値を表示します(16 進数)。上記以外の動作モードの場合はグレーアウトします。<br>ビットアドレス設定時は、センシングレベル表示 CH で設定した CH でのみセンシングレベルが表示されます。 |

|                 |  |
|-----------------|--|
| ④PD(ビット入力情報エリア) | <p>ビットアドレス設定時のみ画面に表示されます。ワードアドレス設定時は次のような表示になります。</p>  <p>動作モードが“COM”または“COM&amp;PIN2”の時に、「3.1.4.2. IO-Link マスタLINKER 設定画面 リスト2」のPD(ビット入力情報エリア)設定で設定したビット範囲の値を表示します(16進数)。それ以外の動作モードの場合はグレースアウトします。</p>  |
| ⑤入力             | <p>入力1～4は、動作モードが“COM”または“COM&amp;PIN2”の時に、「3.1.4.2. IO-Link マスタLINKER 設定画面 リスト2」I/O 情報ビット位置1～4で設定したビットの値がそれぞれ対応するフィールドに表示されます。I/O 情報ビット位置1～4で設定していないフィールドはグレースアウトします。また、上記以外の動作モードの場合もグレースアウトします。</p> <p>PIN2は動作モードが“COM&amp;PIN2”の時のみ表示され、それ以外の場合はグレースアウトします。入力の値は、0又は1を表示します。</p>  |
| ⑥Event Data     | <p>IO-Link 仕様書(V1.1.2)、EventCodes(diagnosis information)で定義されているイベントコードとイベント内容文字列(英語)を表示します(イベント内容文字列をテーブル化して保持しておきます)。</p> <p>上記仕様書に定義が無く、デバイスメカ独自のイベントについては、イベントコードのみを表示します。</p> <p>イベントデータはデバイスとの通信が確立されている場合、周期的に読み出しを行いリアルタイムに値を表示します(動作モードがいずれの設定の場合も)。</p> <p>※片方のCHのイベントを読み出しきっていない状態でももう一方のCHのイベントを読み出しきった場合、新たにイベントを発生させても読み出されません。イベントが残っているCHのイベントを読み出しきってから、新たにイベントを発生させたCHのIO-Link デバイス設定画面を開くとイベントを読み出すようになります。</p> <p>最新1件のイベントのみを表示し、一度読み出したイベントコードは、別画面に遷移し再度戻ってきた際には表示されません。</p>                                  |
| ⑦イベント詳細ボタン      | <p>ボタンをクリックすると、別画面が開き、発生しているイベントデータの一覧が表示されます。画面詳細は「3.1.5.1. イベント詳細表示画面」をご確認ください。</p>  |
| ⑧OD 表示方法        | <p>On Request Data の値表示方法の選択ができます(16進数、10進数、2進数、文字列)。</p> <p>接続機器表示エリアのツリー表示で、現在選択していないIO-Link マスタLINKERに接続されているデバイスをクリックすると、選択状態がデフォルト(16進数)に戻ります。</p>  |
| ⑨OD 入力・表示フィールド  | <p>Index、SubIndex を指定して、指定データ Read/Write を実行することで対象の Index に読み出し/書き込みを実施することができます(指定データ Write の場合は実行前に書き込み値を入力する必要があります)。</p> <p>値は有効数字桁分表示します。</p> <p>値表示方法で文字列以外を選択している場合、指定データ Write は1行2バイトまでの値を指定して書き込みを実行することができ、入力した値のサイズ(1バイト単位)で書き込みされます。2バイトを超える値を書き込みする場合は複数行に分けて指定する必要があります。</p> <p>値表示方法で文字列を選択している場合は、2バイトを超える値でも1行で指定して書き込みを実行することができます。</p> <p>値表示方法が文字列以外で1行2バイトを超える値を入力した場合、エラーがダイアログ表示され、ユーザが範囲内の値を書き込むまでは、他箇所への入力はできません。</p>  |

Index、SubIndex は 10 進数固定であり、OD 表示方法では変化しません。

行を選択して右クリックをすると以下のようなコンテキストメニューが表示されます。

- 行の追加
- 行の削除
- 行の切り取り
- 行の貼り付け
- 行の一括削除

| メニュー   | 動作                           |
|--------|------------------------------|
| 行の追加   | 選択した行の上に行を追加                 |
| 行の削除   | 選択した行を削除                     |
| 行の切り取り | 選択した行を切り取り                   |
| 行の貼り付け | 選択した行の上に「行の切り取り」で切り取った行を貼り付け |
| 行の一括削除 | 全ての行を削除                      |

※実行できない操作はグレーアウトします。

---

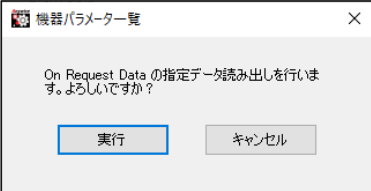
⑩指定データ Read/Write

各項目のフィールドで Index、SubIndex を入力し、指定データ Read/Write のラジオボタンで読み出し or 書き込みを選択して実行ボタンをクリックすると、指定した Index に対して読み出し or 書き込みを実行することができます。

※読み出し後に⑧OD 表示方法で値表示方法を変更した場合は再度読み出しを実行してください。

接続機器表示エリアのツリー表示で、現在選択していない IO-Link マスタ LINKER に接続されているデバイスをクリックすると、選択状態がデフォルト(読み出し)に戻ります。

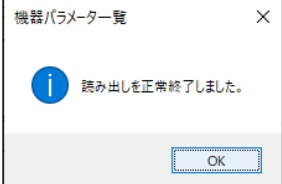
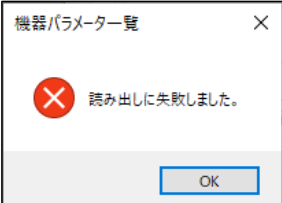
実行後は以下のようなダイアログが表示されます。

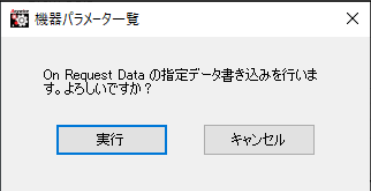


↓

読み出し中です。

↓

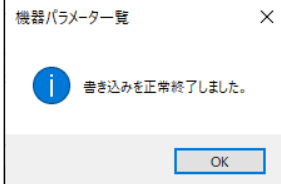
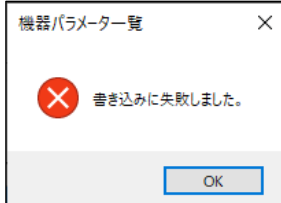





↓

書き込み中です。

↓

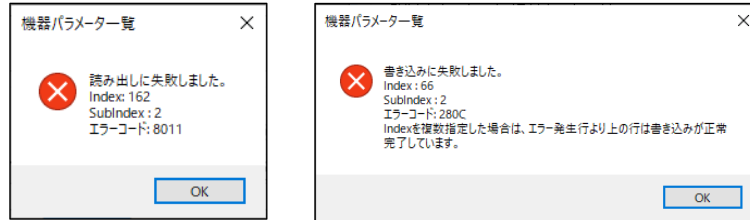



以下の場合には異常完了します。

- ・動作モード設定が“COM”もしくは“COM&PIN2”以外の場合
- ・使用 CH 設定で未使用 CH に設定している場合

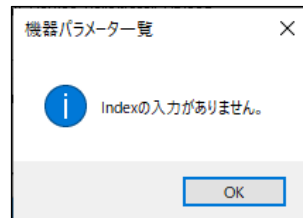
読み出し/書き込み時にデバイスエラーが発生した場合には、以下のダイアログが表示されます。

- ・エラーが発生した Index、SubIndex
- ・エラーコード(エラーコードについては IO-Link 仕様書 (V1.1.2)を参照してください。)

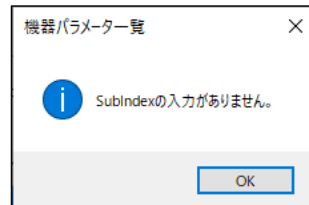


※Index を複数指定して書き込みを実行しデバイスエラーが発生した場合は、エラー発生行より上の行の書き込みは正常完了しています。

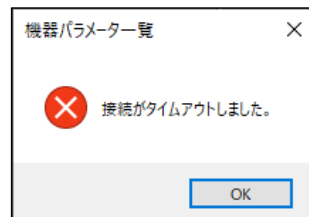
Index の列が空欄の状態で行を実行すると以下のダイアログが表示されます。



Index に値が入っている行の SubIndex が空欄の状態で行を実行ボタンをクリックすると以下のダイアログが表示されます。



接続がタイムアウトした場合、以下のダイアログが表示されます。

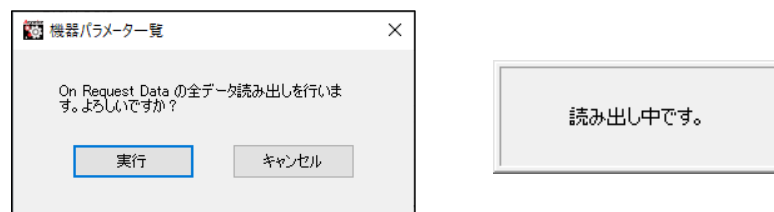


通信失敗の要因については「4.3.1.タイムアウト処理発生条件」をご確認ください。

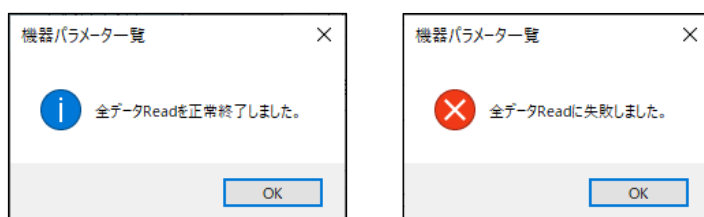
①全データ Read

実行をクリックすると、On Request Data 全データの読み出しを実行することができます。  
※読み出し後に⑧OD 表示方法で値表示方法を変更した場合は再度読み出しを実行してください。

実行後は以下のようなダイアログが表示されます。



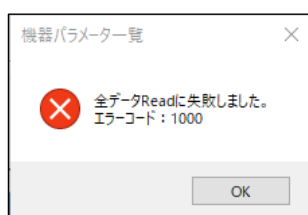
パラメータの読み出しが完了すると以下のダイアログが表示されます。



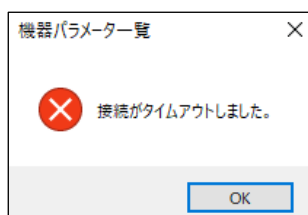
以下の場合には異常完了します。

- ・動作モード設定が“COM”もしくは“COM&PIN2”以外の場合
- ・使用 CH 設定で未使用 CH に設定している場合

デバイスエラーが発生した場合には、ダイアログにエラーコードが表示されます。エラーコードについては IO-Link 仕様書 (V1.1.2) を参照してください。



接続がタイムアウトした場合、以下の画面が表示されます。



通信失敗の要因については「4.3.1.タイムアウト処理発生条件」をご確認ください。

※設定画面の復元後に②～⑤の正しいデータを確認するには IO-Link マスタ LINKER で有効になっている設定と設定ツール上の設定を合わせる必要があるため、IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 1、2 で書き込みもしくは読み出しを実行する必要があります。設定画面の復元については「3.1.1.1.ファイル(F)」をご確認ください。



### 3.1.5.1 イベント詳細表示画面

最新 50 件のイベントを表示します。

接続機器表示エリアのツリー表示で、現在選択していない IO-Link マスタ LINKER に接続されているデバイスをクリックすると、イベント詳細はクリアされます。

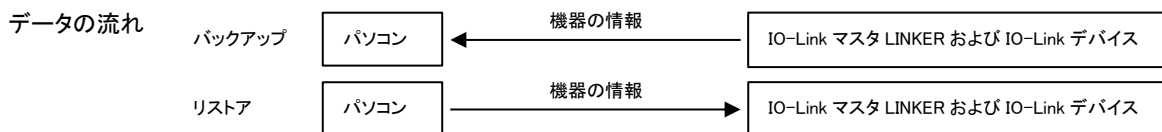
イベント詳細

| No | イベントコード | イベント内容                                   |
|----|---------|--|
| 1  | C102    | Detection of voltage drop on L+ line     |
| 2  | C102    | Detection of voltage drop on L+ line     |
| 3  | FF22    | SDCI specific EventCodes (see Table D.2) |
| 4  | C302    | IO-Link Device Parameter Upload          |
| 5  | C102    | Detection of voltage drop on L+ line     |
| 6  | C102    | Detection of voltage drop on L+ line     |
| 7  | FF22    | SDCI specific EventCodes (see Table D.2) |
| 8  | C102    | Detection of voltage drop on L+ line     |
| 9  | C102    | Detection of voltage drop on L+ line     |
| 10 | FF22    | SDCI specific EventCodes (see Table D.2) |
| 11 | C102    | Detection of voltage drop on L+ line     |
| 12 | C102    | Detection of voltage drop on L+ line     |
| 13 | FF22    | SDCI specific EventCodes (see Table D.2) |
| 14 | C302    | IO-Link Device Parameter Upload          |
| 15 | C102    | Detection of voltage drop on L+ line     |
| 16 | C102    | Detection of voltage drop on L+ line     |
| 17 | FF22    | SDCI specific EventCodes (see Table D.2) |
| 18 | C302    | IO-Link Device Parameter Upload          |
| 19 | C301    | IO-Link Device Parameter Download        |
| 20 | C102    | Detection of voltage drop on L+ line     |
| 21 | C102    | Detection of voltage drop on L+ line     |

開じる

### 3.1.6 バックアップ/リストア

IO-Link マスタ LINKER および IO-Link デバイスの情報を、パソコンに保存し、読み出します。



ASLINK マスタから実行するバックアップ/リストアとの違いについては以下の通りです。

| 機能                          | 対象データ   | 保存先         |
|-----------------------------|---|-------------|
| ASLINK マスタから実行するバックアップ/リストア | IO-Link マスタ LINKER の機器パラメータ                                     | マスタ局の不揮発メモリ |
| 設定ツールから実行するバックアップ/リストア      | IO-Link マスタ LINKER の機器パラメータ*<br>IO-Link デバイスのバックアップ対象 Index の情報 | パソコン        |

\*バックアップ対象が IO-Link マスタ LINKER 配下もしくは ASLINK マスタユニット配下の時のみ。

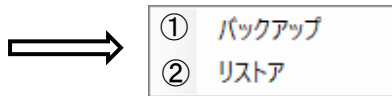
保存する情報は全てテキストファイルで扱います。

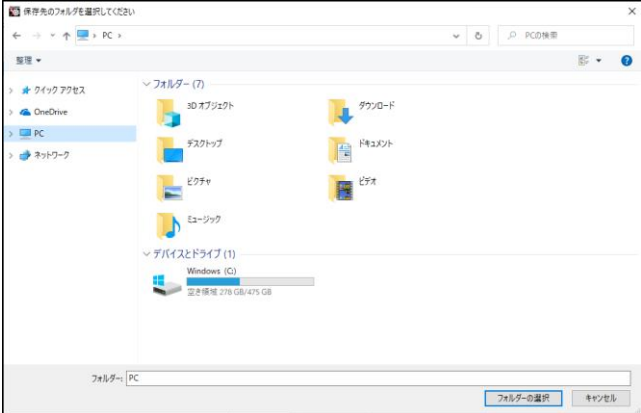
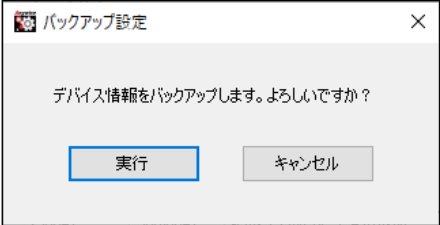
バックアップで生成される設定ファイル内容、リストアで復元される設定と復元先については「4.2.2.ファイル内容」をご確認ください。

バックアップ/リストア対象(赤点線部)右クリックでコンテキストメニューが開きます。

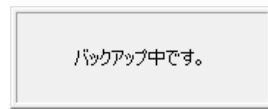
接続機器表示エリア

| 機器             | 形名         | No.          |
|----------------|------------|--------------|
| [-] CPU        |            |              |
| [-] ASLINKマスタ  | RJ51W12AL  | 先頭I/O番号:0000 |
| [-] IO-Linkマスタ | BL2LN87SB- | I/O入力、アドレス:0 |
| [-] デバイス       | E3Z-D82-M1 | Ch.0         |
| [-] デバイス       | WTB12C-3P  | Ch.1         |

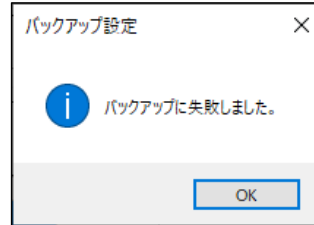
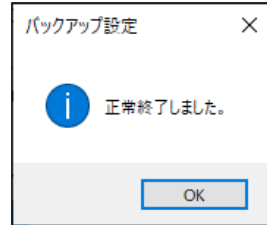


| 項目      | 画面詳細  |
|---------|---|
| ①バックアップ | <p>クリックするとファイル選択画面が表示されます。</p>  <p>ファイル/フォルダを選択し保存(S)ボタン/フォルダの選択ボタンをクリックすると、以下のようなダイアログが表示されます。*1</p>  <p>実行ボタンをクリックするとバックアップを開始します。</p> |

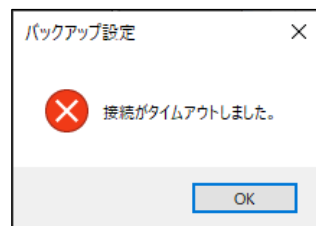
バックアップ中は以下のようなダイアログが表示されます。



バックアップが完了すると以下のようなダイアログが表示されます。



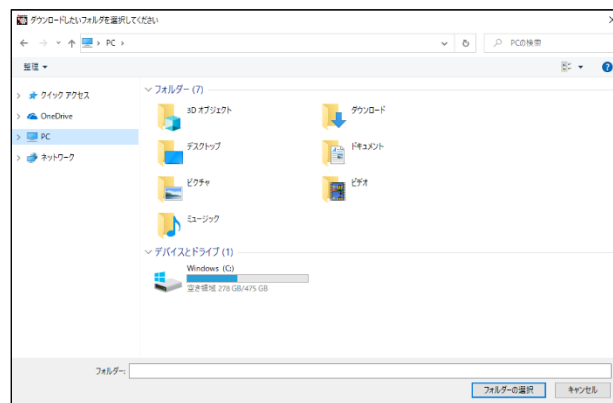
接続がタイムアウトした場合、以下の画面が表示されます。



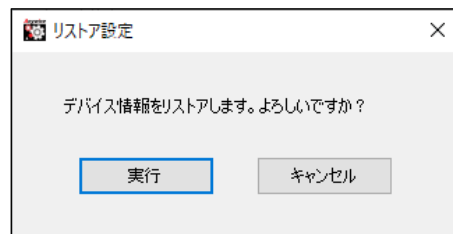
通信失敗の要因については「4.3.1.タイムアウト処理発生条件」をご確認ください。

②リストア

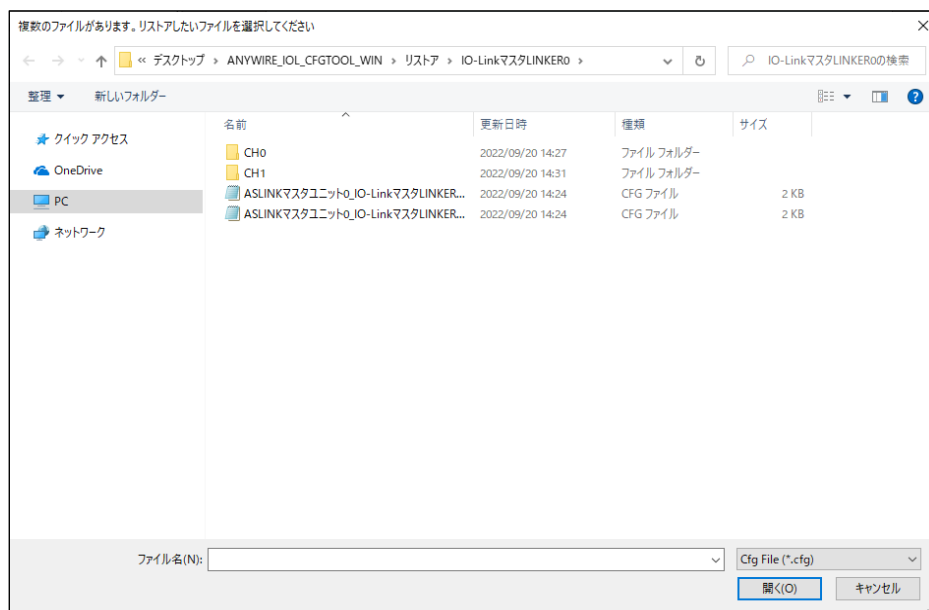
クリックするとファイル選択画面が表示されます。



ファイル/フォルダを選択し開く(O)ボタン/フォルダの選択ボタンをクリックすると、以下のようなダイアログが表示されます。<sup>※2</sup>

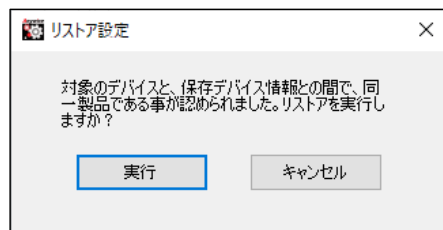


※選択したフォルダ内に複数の設定ファイルが存在する場合は、実行ボタンクリック後に再度ファイル選択画面が表示されるため、リストアするファイルを選択する必要があります。

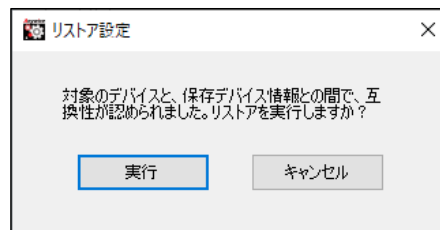


実行ボタンをクリックすると設定ファイルの情報と接続デバイスの情報を比較して以下のようなダイアログを表示します。

設定ファイル内の型名、シリアル No.がリストア対象のデバイスと一致したとき



設定ファイル内の型名がリストア対象のデバイスと一致したとき

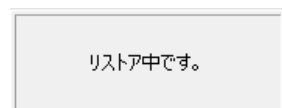


ASLINK マスタユニット、IO-Link マスタ LINKER のリストアの際は、接続されているデバイスと設定ファイルを全て確認するため、デバイスが 2 台繋がっている場合は 2 回ダイアログが表示されます。

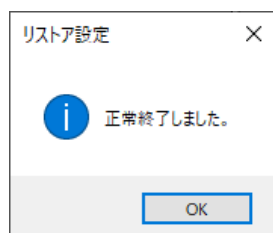
※設定ファイルの情報と接続デバイスの情報を比較する際、リストア対象のデバイスの型名は CPU 設定時に読み出したものを使用する。デバイス交換を行った場合は再度 CPU 設定を実行してからリストアを実行してください。

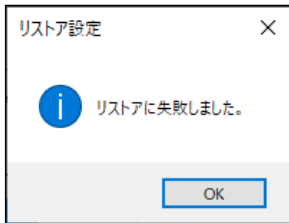
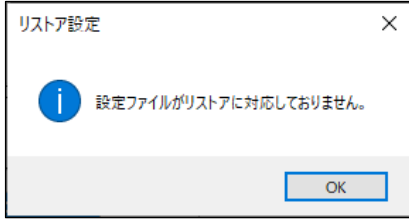
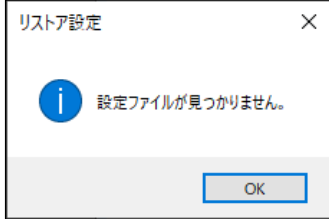
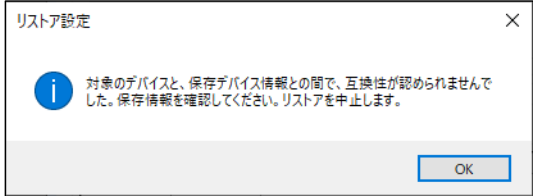
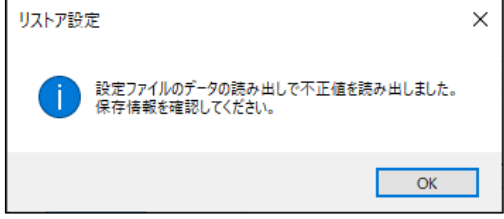
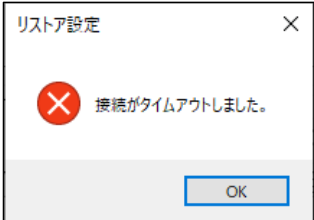
シリアルNo.を持たないデバイスをリストアする場合は、設定ファイルのシリアルNo.と一致することがないため、上記右の「設定ファイル内の型名がリストア対象のデバイスと一致したとき」のダイアログが表示されます。

実行ボタンをクリックするとバックアップを開始します。リストア中は以下のようなダイアログが表示されます。



リストアが正常完了すると以下のようなダイアログが表示されます。



|   |  |
|---|--|
| <p>リストアが異常完了すると以下のようなダイアログが表示されます。</p>  |  |
| <p><b>発生タイミング</b></p> <p>デバイスへの書き込み処理に失敗<br/>デバイスへの接続失敗したとき</p>   | <p><b>ダイアログ</b></p>  |
| <p>対応していないファイルを選択して<br/>実行したとき</p>  |                      |
| <p>リストアする各設定ファイルが、<br/>「4.2.1.フォルダ構成」に記載のフォルダ<br/>に存在しないとき</p>  |                      |
| <p>設定ファイル内の型名とリストア対象の<br/>デバイスの型名が一致しないとき</p>   |                     |
| <p>不正値 (IO-Link デバイス情報が 16<br/>進数以外)を読み出したとき</p>  |                    |
| <p>接続がタイムアウトした場合、以下の画面が表示されます。</p>  <p>通信失敗の要因については「4.3.1.タイムアウト処理発生条件」をご確認ください。</p> |  |

※1 デバイスのバックアップではファイルを生成するため保存(S)ボタン、IO-Link マスタ LINKER と ASLINK マスタユニットのバックアップではフォルダを生成するためフォルダの選択ボタンが表示されます。

※2 デバイスのリストアではファイルを選択するため開く(O)ボタン、IO-Link マスタ LINKER と ASLINK マスタユニットのリストアではフォルダを選択するためフォルダの選択ボタンが表示されます。

動作モード設定、使用 CH 設定を変更した場合は再度 CPU 設定を実施してからバックアップ/リストアを実行してください。

### 3.1.6.1 ASLINKマスタユニット配下

---

ASLINK マスタユニットに対して、その配下の全台 (IO-Link マスタ LINKER、デバイス) についてバックアップ/リストアを実施します。

リストアの際は、選択されたフォルダー式の内容が、初めに接続機器表示エリアで選択した ASLINK マスタユニット配下の構成に対してされます。

読み出すデータ内容は、

- ・ IO-Link マスタ LINKER のパラメータの一式 (ASLINK マスタユニットのバッファメモリから読み出す)。
- ・ IO-Link マスタ LINKER のデータストレージから読み出した Index、SubIndex と、データ実体の内容。

書き込むデータ内容は、

- ・ IO-Link マスタ LINKER 設定ファイルの機器パラメータ 1~19 に対応する内容
- ・ IO-Link デバイス設定ファイルの内容一式

### 3.1.6.2 IO-LinkマスタLINKER配下

---

IO-Link マスタ LINKER に対して、その配下の全台 (IO-Link マスタ LINKER、デバイス) についてバックアップ/リストアを実施します。

リストアの際は、選択されたフォルダー式の内容が、初めに接続機器表示エリアで選択した IO-Link マスタ LINKER 配下の構成に対して書き込みされます。

読み出すデータ内容、書き込むデータ内容については、「3.1.6.1. ASLINK マスタユニット配下デバイス」と同様です。

### 3.1.6.3 デバイス

---

バックアップ/リストアで、IO-Link デバイスのどのパラメータを読み出せば良いかは、IO-Link デバイスのパラメータ「Data Storage Index」(Index 0x0003) に記述されています。ツールはその内容をデバイスから読み出し、処理を行います。

(IO-Link 仕様書 (V1.1.2) を参照)

読み出すデータ内容は、

- ・ IO-Link マスタ LINKER のデータストレージから読み出した Index、SubIndex とデータ実体の内容。

書き込むデータ内容は、

- ・ IO-Link デバイス設定ファイルの内容一式

## 4 機能

### 4.1 デバイス周期情報の読み出し

本ツールでは、デバイス周期情報のプロセスデータの読み出しにコマンドを使用せず、バッファメモリを直接読んでいます。

※デバイス設定画面を開いている間は、ラダーなど設定ツール以外からパラメータ変更を行わないでください。

#### 4.1.1 デバイスI/O

IO-Link マスタ LINKER がデバイスから受ける入力信号を、本ツールで読み出します。

IO-Link マスタ LINKER は、1 台(デバイス 2 台分)で最大 10 点の入力信号(I/O)を持ち得ます。

(1 デバイスあたり PD(プロセスデータ)中に最大 4 点+PIN2 出力で 1 点→最大 5 点→×2 台で最大 10 点)

#### 4.1.2 デバイスセンシング情報

デバイスセンシング情報は、I/O 情報などと共にプロセスデータ(PD)中に格納されて、IO-Link デバイスから出力されます。

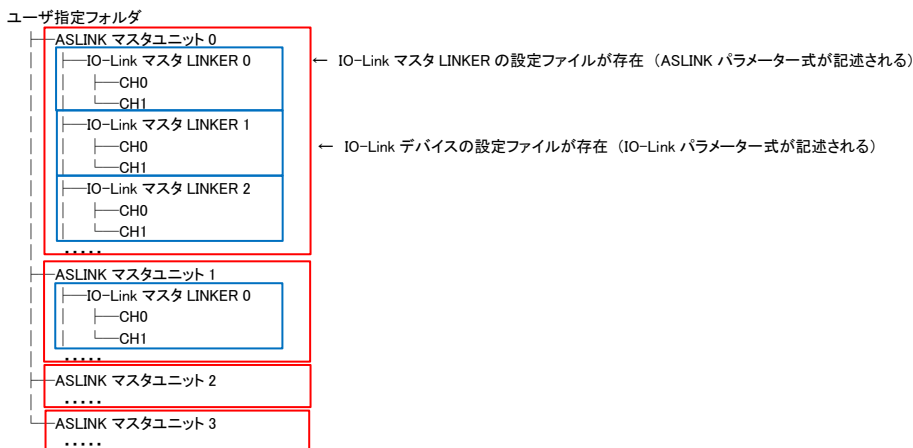
表示画面については「3.1.5.デバイス(IO-Link デバイス)設定画面(各 CH)」をご確認ください。

### 4.2 設定ファイルの読み書き

本ツールでは、本ツールで設定できる内容の一式を、テキストファイルとして保存、読み出しを行います。

#### 4.2.1 フォルダ構成

接続機器の構成に合わせ、保存したい設定内容は以下のようなフォルダ構成とします。

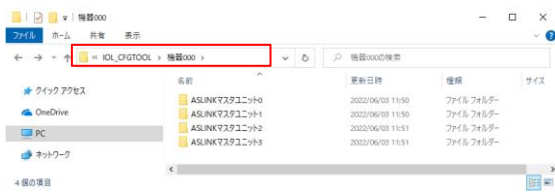


|                                      |       |
|--------------------------------------|-------|
| ASLINK マスタユニットのバックアップで生成されるフォルダ      | _____ |
| IO-Link マスタ LINKER のバックアップで生成されるフォルダ | _____ |

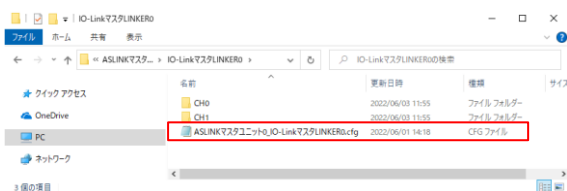
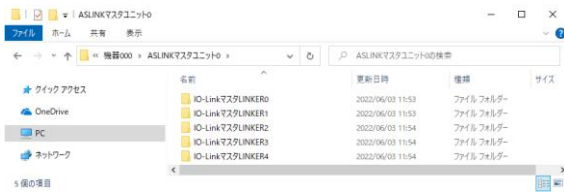
※ASLINK マスタユニットのバックアップで生成されるフォルダは、先頭 I/O 番号の昇順で ASLINK マスタユニット 0、ASLINK マスタユニット 1、ASLINK マスタユニット 2...と命名される(バックアップした順番では命名されません)。

※IO-Link マスタ LINKER のバックアップで生成されるフォルダは、IO-Link マスタ LINKER の ID の昇順で IO-Link マスタ LINKER0、IO-Link マスタ LINKER1、IO-Link マスタ LINKER2…と命名される(バックアップした順番では命名されません)。

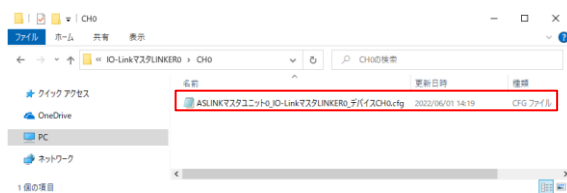
フォルダ構成のイメージ



本設定ツールの設定ファイル用のルートフォルダ



IO-Link 接続 IO-Link マスタ LINKER の設定ファイル



IO-Link デバイスの設定ファイル



## 4.2.2 ファイル内容

設定ファイルは、テキストファイルとします(命名規則は Windows 依存)。各ファイルでは下記の情報を保持します。

| 種別                                     | 保存内容  |
|--|---|
| ファイル(F)メニュー<br>上書き保存(S)<br>名前を付けて保存(A) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ASLINK マスタユニット&lt;aslink-master&gt;<br/>アクセス対象 CPU ユニット<br/>接続ユニット<br/>伝文形式<br/>通信プロトコル<br/>ホスト名(IP アドレス)</li> <li>・IO-Link マスタ LINKER&lt;io-linker&gt;<br/>先頭 I/O 番号<br/>ユニット ID<br/>ユニット形名ナンバー<br/>機能バージョン</li> <li>・IO-Link マスタ LINKER 設定画面 1&lt;linker-setting1&gt;<br/>先頭 I/O 番号<br/>ユニット ID<br/>動作モード設定(CH0/CH1)<br/>デジタル入力時フィルタ時間設定(CH0/CH1)<br/>入力/出力 OFF デレイ(CH0/CH1)<br/>デバイス検証設定(CH0/CH1)<br/>上下バイト交換(CH0/CH1)<br/>センシングレベル表示 CH 設定<br/>使用 CH 設定<br/>デバイス交換フラグ設定<br/>PD(ビット入力情報エリア)伝達方法</li> <li>・IO-Link マスタ LINKER 設定画面 2&lt;linker-setting2&gt;<br/>先頭 I/O 番号<br/>ユニット ID<br/>I/O 情報ビット位置 1~4、5(Pin2) (CH0/CH1)<br/>センシングレベル開始、終点位置 (CH0/CH1)<br/>PD(ビット入力情報エリア)開始、終点位置 (CH0/CH1)<br/>IN LED 設定 (CH0/CH1)</li> <li>・IO-Link デバイス設定画面&lt;Device-setting&gt;<br/>先頭 I/O 番号<br/>ユニット ID<br/>Index(CH0/CH1)<br/>SubIndex(CH0/CH1)<br/>データ(CH0/CH1)</li> </ul> |
| テンプレート                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>I/O 情報ビット位置 1~4</li> <li>センシングレベル開始、終点位置</li> <li>PD(ビット入力情報エリア)開始、終点位置</li> </ul>   |

|        |                                      |  |
|--------|--------------------------------------|--|
| バックアップ | ASLINK マスタユニット<br>IO-Link マスタ LINKER | アクセス対象 CPU ユニット<br>接続ユニット<br>伝文形式<br>通信プロトコル<br>先頭 I/O 番号<br>ユニット ID<br>機器パラメータ 1~19<br>ステータス詳細<br>センシングレベル<br>ワード点数パターン<br>ビット点数パターン<br>ユニット形名ナンバー<br>機能バージョン |
|        | IO-Link デバイス                         | 形名<br>シリアル No.※ <sup>1</sup><br>INDEX LIST (INDEX:3 SUBINDEX:5) に示されている INDEX の情報  |

| 操作別に作成されるファイル・フォルダ               |                                  | 保存先  | 復元先  |
|----------------------------------|----------------------------------|------|--|
| ファイル(F)メニュー<br>開く(O)/名前を付けて保存(A) |                                  | パソコン | IO-Link マスタ LINKER<br>設定ツール画面<br>(CPU 選択画面、IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 1、<br>IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 2、デバイス設定画面) |
| テンプレート                           |                                  |      | 設定ツール画面 (IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 2)  |
| バックアップ/<br>リストア                  | ASLINK マスタユニット※ <sup>2</sup>     |      | 配下の IO-Link マスタ LINKER 全台  |
|                                  | IO-Link マスタ LINKER※ <sup>2</sup> |      | IO-Link デバイス   |
|                                  | IO-Link デバイス※ <sup>2</sup>       |      | IO-Link マスタ LINKER   |
|                                  |                                  |      | IO-Link デバイス   |

※<sup>1</sup> シリアル No が設定されていないデバイスの場合は、範囲外データである“FF FF FF FF FF FF FF FF”(18byte 分のデータ)が格納されます。

※<sup>2</sup> 画面上(ツリー表示)で選択する箇所

| 復元先  | 復元内容  |
|--|---|
| IO-Link マスタ LINKER<br>設定ツール画面<br>(CPU 選択画面、IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 1、IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 2、IO-Link デバイス設定画面) | <ul style="list-style-type: none"> <li>・IO-Link マスタ LINKER<br/>先頭 I/O 番号<br/>ユニット ID<br/>ユニット形名ナンバー<br/>機能バージョン</li> <li>・CPU 選択画面<br/>アクセス対象 CPU ユニット<br/>接続ユニット<br/>ホスト名(IP アドレス)</li> <li>・IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 1<br/>先頭 I/O 番号<br/>ユニット ID<br/>動作モード設定(CH0/CH1)<br/>デジタル入力時フィルタ時間設定(CH0/CH1)<br/>入力/出力 OFF デレイ(CH0/CH1)<br/>デバイス検証設定(CH0/CH1)<br/>上下バイト交換(CH0/CH1)<br/>センシングレベル表示 CH 設定<br/>使用 CH 設定<br/>デバイス交換フラグ設定<br/>PD(ビット入力情報エリア)伝達方法</li> </ul> |

|  |   |
|--|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 2<br/>先頭 I/O 番号<br/>ユニット ID<br/>I/O 情報ビット位置 1~4、5(Pin2) (CH0/CH1)<br/>センシングレベル開始、終点位置 (CH0/CH1)<br/>PD(ビット入力情報エリア)開始、終点位置 (CH0/CH1)<br/>IN LED 設定 (CH0/CH1)</li> <li>・IO-Link デバイス設定画面<br/>先頭 I/O 番号<br/>ユニット ID<br/>Index(CH0/CH1)<br/>SubIndex(CH0/CH1)<br/>データ(CH0/CH1)</li> </ul> |
| 設定ツール画面<br>(IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リ<br>スト 2) | I/O 情報ビット位置<br>センシングレベル<br>PD(ビット入力情報エリア)   |
| IO-Link マスタ LINKER                             | 機器パラメータ 1~19  |
| IO-Link デバイス                                   | 設定ファイルに保存されている INDEX の情報  |

※以下の項目については設定ツール内では確認できない。

- ・先頭 I/O 番号
- ・ユニット ID
- ・ユニット形名ナンバー
- ・機能バージョン
- ・ステータス詳細

#### 設定ファイル内容

| 保存内容          |                        | 値      | 設定内容                           |
|---------------|------------------------|--------|--------------------------------|
| アクセス対象 CPU    | CpuType                | 0x1001 | R04CPU                         |
|               |                        | 0x1002 | R08CPU                         |
|               |                        | 0x1003 | R16CPU                         |
|               |                        | 0x1004 | R32CPU                         |
|               |                        | 0x1005 | R120CPU                        |
| 接続ユニット        | UnitType               | 0x1002 | Ether 接続 IP 指定                 |
|               |                        | 0x1003 |                                |
|               |                        | 0x1004 | USB 接続                         |
| 伝文形式          | PacketType             | 0x01   | CPU プロトコル型式                    |
| 通信プロトコル       | ProtocolType           | 0x05   | TCP/IP 経由                      |
|               |                        | 0x08   | UDP/IP 経由                      |
|               |                        | 0x0D   | USB ポート経由                      |
| ホスト名(IP アドレス) | HostAddress            | NULL   | IP 指定通信を使用しない場合                |
|               |                        |        | CPU ユニットの IP アドレス              |
| サブネットマスク      | SubnetMask             | NULL   | IP 指定通信を使用しない場合                |
|               |                        |        | CPU ユニットのサブネットマスク              |
| 先頭 I/O 番号     | StartIoNumber          |        | ASLINK マスタの先頭 I/O 番号           |
| ユニット ID       | unit_jd                |        | ASLINK マスタのユニット ID             |
| 機器パラメータ 1~19  | parameter1~parameter19 |        | IO-Link マスタ LINKER の機器パラメータ    |
| ステータス詳細       | status                 |        | IO-Link マスタ LINKER のステータス詳細    |
| センシングレベル      | sensing_lv             |        | IO-Link マスタ LINKER のセンシングレベル   |
| ワード点数パターン     | io_word                |        | IO-Link マスタ LINKER のワード点数パターン  |
| ビット点数パターン     | io_bit                 |        | IO-Link マスタ LINKER のビット点数パターン  |
| ユニット形名ナンバー    | model                  |        | IO-Link マスタ LINKER のユニット形名ナンバー |

|   |                    |  |  |
|---|--------------------|--|--|
| 機能バージョン                                     | version            |  | IO-Link マスタ LINKER の機能バージョン                  |
| 動作モード設定 (CH0/CH1)                           | communication_mode |  | IO-Link マスタ LINKER の各機器パラメータ設定               |
| デジタル入力時フィルタ時間設定 (CH0/CH1)                   | digital_time       |  |  |
| 入力/出力 OFF デレイ (CH0/CH1)                     | io_delay           |  |  |
| デバイス検証設定 (CH0/CH1)                          | device_mode        |  |  |
| 上下バイト交換 (CH0/CH1)                           | change_byte        |  |  |
| センシングレベル表示 CH 設定                            | sensing_ch         |  |  |
| 使用 CH 設定                                    | use_ch             |  |  |
| デバイス交換フラグ設定                                 | device_change      |  |  |
| PD (ビット入力情報エリア) 伝達方法                        | sensing_bit_comm   |  |  |
| I/O 情報ビット位置 1~4、5 (PIN2) (CH0/CH1)          | io_info            |  |  |
| センシングレベル開始、終点位置 (CH0/CH1)                   | sensing_data       |  |  |
| PD (ビット入力情報エリア) 開始、終点位置 (CH0/CH1)           | sensing_data2      |  |  |
| IN-LED 設定 (CH0/CH1)                         | in_led             |  |  |
| 型名  | product_name       |  |  |
| シリアル No                                     | serial_number      |  | IO-Link デバイスのシリアル No                         |
| Index (CH0/CH1) (IO-Link デバイスのバックアップで取得)    | index              |  | IO-Link デバイスのインデックスリスト参照                     |
| SubIndex (CH0/CH1) (IO-Link デバイスのバックアップで取得) | subindex           |  |  |
| データ (CH0/CH1) (IO-Link デバイスのバックアップで取得)      | data               |  | IO-Link デバイスのインデックスリスト内のインデックス情報             |
| Index (CH0/CH1) (設定画面の保存で取得)                | index              |  | IO-Link デバイス設定画面に記載されている Index               |
| SubIndex (CH0/CH1) (設定画面の保存で取得)             | subindex           |  | IO-Link デバイス設定画面に記載されている SubIndex            |
| データ (CH0/CH1) (設定画面の保存で取得)                  | data               |  | IO-Link デバイス設定画面に記載されているデータ (読み出し値 or 書き込み値) |

#### 4.2.2.1 IO-Link マスタLINKER本体の設定ファイル

---

IO-Link マスタ LINKER 本体は、ASLINK リモートユニットである為、バックアップ対象は、ASLINK リモートユニットとしてのパラメーター式となります。

本ツールは、ASLINK マスタユニットのバッファメモリからパラメータを読み出し、テキストファイルに保存します。ファイル名は、下記のようになります。

「ASLINK マスタユニット 0\_IO-Link マスタ LINKER0.cfg」 （拡張子は“.cfg”）

#### 4.2.2.2 IO-Link マスタLINKER配下のデバイスの設定ファイル

---

バックアップ対象は、IO-Link デバイスのパラメータです。

ファイル名は、下記のようになります。

「ASLINK マスタユニット 0\_IO-Link マスタ LINKER0\_デバイス CH0.cfg」 （拡張子は“.cfg”）

### 4.3 タイムアウト仕様

---

本ツールでは、IO-Link マスタ LINKER との通信異常が発生した場合に、タイムアウト処理を行います。タイムアウト時間、および最大リトライ回数は「ツール(T)」の「タイムアウト設定」にて設定された値となります。設定値については「3.1.1.2.ツール(T)」をご確認ください。

#### 4.3.1 タイムアウト処理発生条件

---

タイムアウトが発生する外部現象は以下の通り。

- ・USB ケーブル断線
- ・LAN ケーブル断線
- ・ベースから CPU ユニット抜去
- ・ベースから ASLINK マスタユニット抜去
- ・ASLINK 伝送ライン断線
- ・シーケンサ電源 OFF
- ・タイムアウトの設定値 (IO-Link マスタLINKERとの通信タイムアウト、最大リトライ回数)が実際の構成に対して小さい

#### 4.3.2 タイムアウト処理が発生する操作

---

- ・CPU 選択画面： CPU ユニット読み出し中(実行クリック時)
- ・IO-Link マスタ LINKER 設定画面\_リスト 1： 読み出し/書込み中(実行クリック時)
- ・IO-Link マスタ LINKER 設定画面\_リスト 2： 読み出し/書込み中(実行クリック時)
- ・デバイス設定画面： On Request Data 指定データ読み出し/書込み中(実行クリック時)
- ・デバイス設定画面： On Request Data 全データ Read 中(実行クリック時)
- ・バックアップ/リストア： バックアップ、リストア中(実行クリック時)
- ・ファイルメニュー： 設定ツールの情報の復元中(実行クリック時)

## 5 トラブルシューティング

### 5.1 現象別トラブルシューティング

#### 【本ツールが正常に起動しない場合】

| チェック項目      | 処置方法                                 |
|-------------|--------------------------------------|
| 動作環境は正しいか。  | 本ツールが対応している環境で起動してください。              |
| 二重起動していないか。 | 二重起動はできません。再起動する場合、一度本ツールを終了させてください。 |

#### 【CPU 設定が正常完了しない場合(タイムアウト含む)】

| チェック項目   | 処置方法  |
|--|---|
| 接続している CPU シリーズが正しく選択されているか。                       | 接続している CPU のシリーズを確認して正しい CPU シリーズを選択してください。接続している CPU シリーズがドロップダウンリストに表示されていない場合は、本ツールが対応している CPU シリーズを確認して対応機種を使用してください。                         |
| 接続方法が正しく設定されているか。                                  | 接続方法を実際の接続方法に合わせて指定してください。  |
| Ethernet 接続 IP 指定の場合、ネットワーク設定が正しく指定されているか。         | IP アドレスを正しく設定してください。  |
| シーケンサの電源が OFF またはリセット状態になっていないか。                   | シーケンサの電源を ON してください。  |
| ASLINK マスタユニットは正常か。                                | ASLINK マスタユニットでエラーが発生していないか確認し、正常に動作していることを確認してください。  |
| 接続ケーブルが断線していないか。                                   | USB ケーブル、LAN ケーブル、ASLINK 伝送ラインを正しく接続しなおしてください。  |
| ユニットが正しく装着されているか。                                  | CPU ユニット、ASLINK マスタユニットをベースに正しく装着して、CPU ユニットにエラーが発生していないか確認し、正常に動作していることを確認してください。  |
| IO-Link デバイスが初期化中になっていないか。                         | IO-Link デバイスの初期化が終了してから CPU 設定を実行してください。  |
| 実行中にアドレス変更していないか。                                  | アドレス変更後に CPU 設定を実行してください。   |
| ASLINK リモートユニットの台数に対して、設定ツールのタイムアウト設定が十分な値となっているか。 | 設定ツールのタイムアウト設定値を確認してください。(ツール(T)タイムアウト設定画面)<br>ASLINK リモートユニットの台数変更の際は、タイムアウト時間変更の検討を行ってください。(台数が多くなる場合、CPU の通信対象台数が増える為、より長いタイムアウト時間を要する場合があります) |

※タイムアウト発生条件については「4.3.タイムアウト仕様」を参照

#### 【IO-Link マスタ LINKER が正常に表示されない場合】

| チェック項目            | 処置方法               |
|-------------------|--------------------|
| アドレス自動認識は実行しているか。 | アドレス自動認識を実行してください。 |

#### 【IO-Link デバイスが正常に表示されない場合】

| チェック項目                       | 処置方法  |
|------------------------------|---|
| ユニットが正しく装着されているか。            | CPU ユニット、ASLINK マスタユニットをベースに正しく装着して、CPU ユニットにエラーがなく正常に動作していることを確認してから、再度 CPU 設定を実行してください。 |
| IO-Link デバイスが断線していないか。       | IO-Link デバイスが正常に接続されていることを確認して、再度 CPU 設定を実行してください。  |
| ASLINK マスタユニットでエラーが発生していないか。 | ASLINK マスタユニットのエラーを解消し正常に動作していることを確認した後、再度 CPU 設定を実行してください。                               |
| 動作モードは正しく設定されているか。           | IO-Link デバイスを接続している CH の動作モード設定を“COM”または“COM&PIN2”に設定して、再度 CPU 設定を実行してください。               |
| 使用 CH 設定は正しく設定されているか。        | 該当 IO-Link デバイスを使用するように設定し、再度 CPU 設定を行ってください。   |

【バックアップが正常完了しない場合(タイムアウト含む)】

| チェック項目   | 処置方法  |
|--|---|
| シーケンサの電源が OFF またはリセット状態になっていないか。                   | シーケンサの電源を ON してください。  |
| ASLINK マスタユニットは正常か。                                | ASLINK マスタユニットでエラーが発生していないか確認し、正常に動作していることを確認してください。  |
| 接続ケーブルが断線していないか。                                   | USB ケーブル、LAN ケーブル、ASLINK 伝送ラインを正しく接続しなおしてください。  |
| ユニットが正しく装着されているか。                                  | CPU ユニット、ASLINK マスタユニットをベースに正しく装着して、CPU ユニットにエラーが発生していないか確認し、正常に動作していることを確認してください。  |
| IO-Link デバイスが断線していないか。                             | IO-Link デバイスを正常に接続してください。   |
| 動作モード設定を変更していないか。                                  | CPU 設定後に動作モードを“COM”もしくは“COM&PIN2”から変更した場合は再度 CPU 設定を実行してください。   |
| 使用 CH 設定を変更していないか。                                 | CPU 設定後に使用 CH 設定を変更した場合は再度 CPU 設定を実行してください。   |
| CPU 設定後にアドレス変更されていないか。                             | 再度 CPU 設定を実行してください。   |
| ASLINK リモートユニットの台数に対して、設定ツールのタイムアウト設定が十分な値となっているか。 | 設定ツールのタイムアウト設定値を確認してください。(ツール(T)タイムアウト設定画面)<br>ASLINK リモートユニットの台数変更の際は、タイムアウト時間変更の検討を行ってください。(台数が多くなる場合、CPU の通信対象台数が増える為、より長いタイムアウト時間を要する場合があります) |

※タイムアウト発生条件については「4.3.タイムアウト仕様」を参照

【ファイルメニュー 開く(O)が正常完了しない場合(タイムアウト含む)】

| チェック項目   | 処置方法  |
|--|---|
| シーケンサの電源が OFF またはリセット状態になっていないか。                   | シーケンサの電源を ON してください。  |
| ASLINK マスタユニットは正常か。                                | ASLINK マスタユニットでエラーが発生していないか確認し、正常に動作していることを確認してください。  |
| 接続ケーブルが断線していないか。                                   | USB ケーブル、LAN ケーブル、ASLINK 伝送ラインを正しく接続しなおしてください。  |
| ユニットが正しく装着されているか。                                  | CPU ユニット、ASLINK マスタユニットをベースに正しく装着して、CPU ユニットにエラーが発生していないか確認し、正常に動作していることを確認してください。  |
| 選択した設定ファイルが正しいか。                                   | 拡張子「.cfg」のファイルを選択してください。<br>また、設定ファイル生成時のバックアップ対象とリストア対象が異なる場合リストアできません。対応している設定ファイルを選択してください。  |
| フォルダ構成が正しいか。                                       | リストアする各設定ファイルが、「4.2.1.フォルダ構成」に記載のとおりフォルダ構成になっているか確認してください。  |
| 実行後にファイルが削除されていないか。                                | 選択したファイルが、実行後に削除されていないか確認してください。  |
| 設定ファイルのデバイス情報と対象デバイスに互換性があるか。                      | 設定ファイルに保存されている IO-Link デバイスと接続している IO-Link デバイスの間に互換性があるか確認してください。  |
| 設定ファイル内の設定が不正値になっていないか。                            | 以下を 16 進数で記載してください。<br>・IO-Link マスタ LINKER 情報<br>・IO-Link マスタ LINKER 設定画面情報<br>・IO-Link デバイス情報  |
| 設定ファイル内の CPU 情報が、接続している CPU ユニットと一致しているか。          | 「4.2.2.ファイル内容」に記載の“設定ファイル”で、以下の内容を確認してください。<br>・アクセス対象 CPU ユニット<br>・接続ユニット<br>・伝文形式<br>・通信プロトコル   |
| 実行中にアドレス変更していないか。                                  | アドレス変更後に CPU 設定を実行してください。   |
| ASLINK リモートユニットの台数に対して、設定ツールのタイムアウト設定が十分な値となっているか。 | 設定ツールのタイムアウト設定値を確認してください。(ツール(T)タイムアウト設定画面)<br>ASLINK リモートユニットの台数変更の際は、タイムアウト時間変更の検討を行ってください。(台数が多くなる場合、CPU の通信対象台数が増える為、より長いタイムアウト時間を要する場合があります) |

※タイムアウト発生条件については「4.3.タイムアウト仕様」を参照

【リストアが正常完了しない場合(タイムアウト含む)】

| チェック項目   | 処置方法  |
|--|---|
| シーケンサの電源が OFF またはリセット状態になっていないか。                   | シーケンサの電源を ON してください。  |
| ASLINK マスタユニットは正常か。                                | ASLINK マスタユニットでエラーが発生していないか確認し、正常に動作していることを確認してください。  |
| 接続ケーブルが断線していないか。                                   | USB ケーブル、LAN ケーブル、ASLINK 伝送ラインを正しく接続しなおしてください。  |
| ユニットが正しく装着されているか。                                  | CPU ユニット、ASLINK マスタユニットをベースに正しく装着して、CPU ユニットにエラーが発生していないか確認し、正常に動作していることを確認してください。  |
| IO-Link デバイスが断線していないか。                             | IO-Link デバイスを正常に接続してください。   |
| 動作モード設定を変更していないか。                                  | CPU 設定後に動作モードを“COM”もしくは“COM&PIN2”から変更した場合は再度 CPU 設定を実行してください。   |
| 使用 CH 設定を変更していないか。                                 | CPU 設定後に使用 CH 設定を変更した場合は再度 CPU 設定を実行してください。   |
| 選択した設定ファイルが正しいか。                                   | 拡張子「.cfg」のファイルを選択してください。<br>また、設定ファイル生成時のバックアップ対象とリストア対象が異なる場合リストアできません。対応している設定ファイルを選択してください。  |
| フォルダ構成が正しいか。                                       | リストアする各設定ファイルが、「4.2.1.フォルダ構成」に記載のとおりフォルダ構成になっているか確認してください。  |
| 実行後にファイルが削除されていないか。                                | 選択したファイルが、実行後に削除されていないか確認してください。  |
| 設定ファイルのデバイス情報と対象デバイスに互換性があるか。                      | 設定ファイルに保存されている IO-Link デバイスと接続している IO-Link デバイスの間に互換性があるか確認してください。  |
| 設定ファイル内の設定が不正値になっていないか。                            | 以下を 16 進数で記載してください。<br>・IO-Link マスタ LINKER 情報<br>・IO-Link マスタ LINKER 設定画面情報<br>・IO-Link デバイス情報  |
| 設定ファイル内の CPU 情報が、接続している CPU ユニットと一致しているか。          | 「4.2.2.ファイル内容」に記載の“設定ファイル”で、以下の内容を確認してください。<br>・アクセス対象 CPU ユニット<br>・接続ユニット<br>・伝文形式<br>・通信プロトコル   |
| CPU 設定後にアドレス変更されていないか。                             | 再度 CPU 設定を実行してください。   |
| ASLINK リモートユニットの台数に対して、設定ツールのタイムアウト設定が十分な値となっているか。 | 設定ツールのタイムアウト設定値を確認してください。(ツール(T)タイムアウト設定画面)<br>ASLINK リモートユニットの台数変更の際は、タイムアウト時間変更の検討を行ってください。(台数が多くなる場合、CPU の通信対象台数が増える為、より長いタイムアウト時間を要する場合があります) |

※タイムアウト発生条件については「4.3.タイムアウト仕様」を参照

【テンプレート設定が正常完了しない場合】

| チェック項目                  | 処置方法  |
|-------------------------|---|
| 選択した設定ファイルが正しいか。        | 拡張子「.cfg」のファイルを選択してください。<br>また、テンプレート設定のファイルでない場合リストアできません。対応している設定ファイルを選択してください。 |
| 実行後にファイルが削除されていないか。     | 選択したファイルが、実行後に削除されていないか確認してください。  |
| 設定ファイル内の設定が不正値になっていないか。 | 以下を確認して設定ファイルを修正してください。<br>・ビット位置が 65 以上になっていないか<br>・I/O 情報ビット位置が重複していないか         |
| ビット範囲の設定が正しいか。          | 以下を確認して設定ファイルを修正してください。<br>・I/O 情報ビット位置とセンシングレベルのビット範囲が重複していないか                   |



【IO-Link マスタ LINKER 設定画面で読み出し・書き込みが正常完了しない場合(タイムアウト含む)】

| チェック項目   | 処置方法  |
|--|---|
| シーケンサの電源が OFF またはリセット状態になっていないか。                   | シーケンサの電源を ON してください。  |
| ASLINK マスタユニットは正常か。                                | ASLINK マスタユニットでエラーが発生していないか確認し、正常に動作していることを確認してください。  |
| 接続ケーブルが断線していないか。                                   | USB ケーブル、LAN ケーブル、ASLINK 伝送ラインを正しく接続しなおしてください。  |
| ユニットが正しく装着されているか。                                  | CPU ユニット、ASLINK マスタユニットをベースに正しく装着して、CPU ユニットにエラーが発生していないか確認し、正常に動作していることを確認してください。  |
| CPU 設定後にアドレス変更されていないか。                             | 再度 CPU 設定を実行してください。   |
| ASLINK リモートユニットの台数に対して、設定ツールのタイムアウト設定が十分な値となっているか。 | 設定ツールのタイムアウト設定値を確認してください。(ツール(T)タイムアウト設定画面)<br>ASLINK リモートユニットの台数変更の際は、タイムアウト時間変更の検討を行ってください。(台数が多くなる場合、CPU の通信対象台数が増える為、より長いタイムアウト時間を要する場合があります) |

※タイムアウト発生条件については「4.3.タイムアウト仕様」を参照

【IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 2 で書き込みが正常完了しない場合】

| チェック項目          | 処置方法  |
|-----------------|---|
| センシングレベル設定が正しいか | 以下を確認して設定を変更してください。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・I/O 情報ビット位置とセンシングレベルのビット範囲が重複していないか</li> <li>・センシングレベルの開始位置もしくは終了位置が未設定になっていないか</li> <li>・PD(ビット入力情報エリア)の開始位置もしくは終了位置が未設定になっていないか</li> <li>・センシングレベルの開始位置、終了位置の差が 16 以上になっていないか</li> <li>・PD(ビット入力情報エリア)の開始位置、終了位置の差が 16 以上になっていないか</li> <li>・センシングレベルの開始位置 &gt; 終了位置になっていないか</li> <li>・PD(ビット入力情報エリア)の開始位置 &gt; 終了位置になっていないか</li> </ul> |

【IO-Link デバイス設定画面で読み出し・書き込みが正常完了しない場合(タイムアウト含む)】

| チェック項目   | 処置方法  |
|--|---|
| シーケンサの電源が OFF またはリセット状態になっていないか。                                     | シーケンサの電源を ON してください。  |
| ASLINK マスタユニットは正常か。  | ASLINK マスタユニットでエラーが発生していないか確認し、正常に動作していることを確認してください。  |
| 接続ケーブルが断線していないか。   | USB ケーブル、LAN ケーブル、ASLINK 伝送ラインを正しく接続しなおしてください。  |
| ユニットが正しく装着されているか。  | CPU ユニット、ASLINK マスタユニットをベースに正しく装着して、CPU ユニットにエラーが発生していないか確認し、正常に動作していることを確認してください。  |
| IO-Link デバイスが断線していないか。   | IO-Link デバイスを正常に接続してください。   |
| 動作モード設定が正しいか。  | 動作モードを“COM”または“COM&PIN2”に設定してください。  |
| 使用 CH 設定が正しいか。   | 使用 CH 設定を正しく設定してください。   |
| IO-Link デバイスの On Request Data 読み出し・書き込みで指定している Index、Subindex が正しいか。 | 使用している IO-Link デバイスのインデックスリストを確認して Index、SubIndex を指定してください。<br>IO-Link マスタ LINKER の“製品説明書”に記載の Index、SubIndex を指定して読み出し・書き込みを実行すると異常完了します。       |
| CPU 設定後にアドレス変更されていないか。   | 再度 CPU 設定を実行してください。   |
| ASLINK リモートユニットの台数に対して、設定ツールのタイムアウト設定が十分な値となっているか。                   | 設定ツールのタイムアウト設定値を確認してください。(ツール(T)タイムアウト設定画面)<br>ASLINK リモートユニットの台数変更の際は、タイムアウト時間変更の検討を行ってください。(台数が多くなる場合、CPU の通信対象台数が増える為、より長いタイムアウト時間を要する場合があります) |

※タイムアウト発生条件については「4.3.タイムアウト仕様」を参照

【IO-Link デバイス設定画面のデータが正しく表示されない場合】


| チェック項目   | 処置方法   |
|--|--|
| シーケンサの電源が OFF またはリセット状態になっていないか。                                 | シーケンサの電源を ON してください。   |
| 接続ケーブルが断線していないか。   | USB ケーブル、LAN ケーブル、ASLINK 伝送ラインを正しく接続しなおしてください。                                     |
| ユニットが正しく装着されているか。  | CPU ユニット、ASLINK マスタユニットをベースに正しく装着して、CPU ユニットにエラーが発生していないか確認し、正常に動作していることを確認してください。 |
| IO-Link デバイスが断線していないか。   | IO-Link デバイスを正常に接続してください。  |
| ファイルメニュー 開く(O)の実行後に IO-Link マスタ設定画面 リスト 1、2 で書き込みもしくは読み出しを実行したか。 | ファイルメニュー 開く(O)の実行後は IO-Link マスタ LINKER 設定画面 リスト 1、2 で書き込みもしくは読み出しを実行してください。        |
| 動作モードは正しく設定されているか。   | 動作モード設定を“COM”または“COM&PIN2”に設定してください。   |

---

## 6 変更履歴

---

| バージョン | 日付         | 変更内容 |
|-------|------------|------|
| 1.0版  | 2023.05.22 |      |
|       |            |      |
|       |            |      |
|       |            |      |
|       |            |      |
|       |            |      |
|       |            |      |
|       |            |      |
|       |            |      |

 株式会社エニワイヤ

本 社 : 〒617-8550 京都府長岡京市馬場園所 1  
TEL: 075-956-1611(代) / FAX: 075-956-1613

営業所 : 西日本営業所、東日本営業所、中部営業所、九州営業所  
<http://www.anywire.jp/>

---

お問い合わせ窓口:

- テクニカル サポートダイヤル  
受付時間 9:00~17:00(土日祝、当社休日を除く)

**075-952-8077**

- メールでのお問い合わせ [info@anywire.jp](mailto:info@anywire.jp)